



# 第37期第2四半期 決算資料

---

テクマトリックス株式会社

- 1. 第2四半期 業績報告**
- 2. 事業活動トピックス**
- 3. 中期経営計画「GO BEYOND 3.0」**
- 4. 当社のビジネスモデル（ご参考）**
- 5. 市場環境（ご参考）**

# 1. 第2四半期 業績報告

- ◆ 2021年3月期1Qより、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」を早期適用しております。

# 連結業績（第2四半期累計）

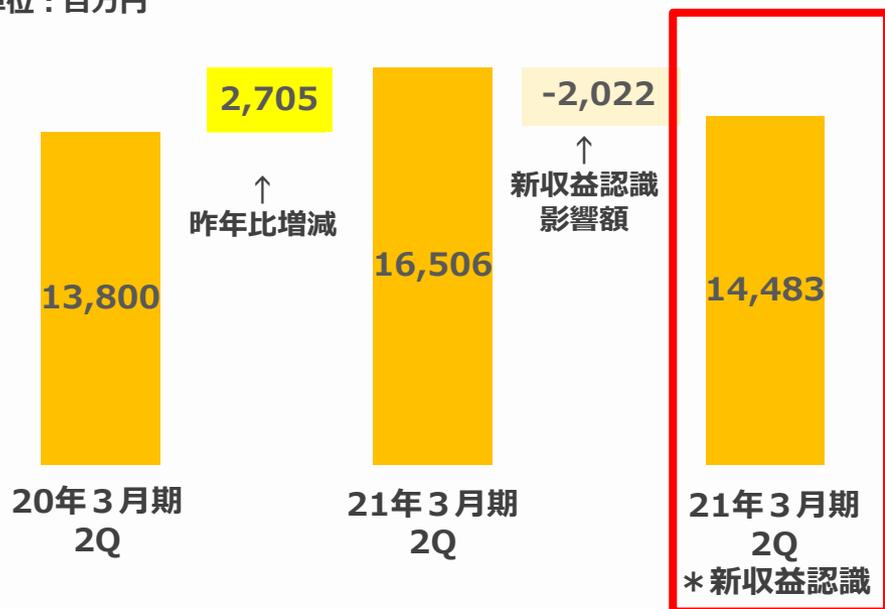
- ◆ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも**過去最高**を記録。

	2020年3月期 Q2累計	2021年3月期 Q2累計 *新収益認識後	増減額	増減率
売上高	138億00百万	144億83百万	+6億83百万	+5.0%
営業利益	13億43百万	16億82百万	+3億38百万	+25.2%
経常利益	13億39百万	16億80百万	+3億40百万	+25.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8億71百万	11億08百万	+2億36百万	+27.2%

# 連結売上高・営業利益（第2四半期累計）

## 売上高

単位：百万円



## 営業利益

単位：百万円

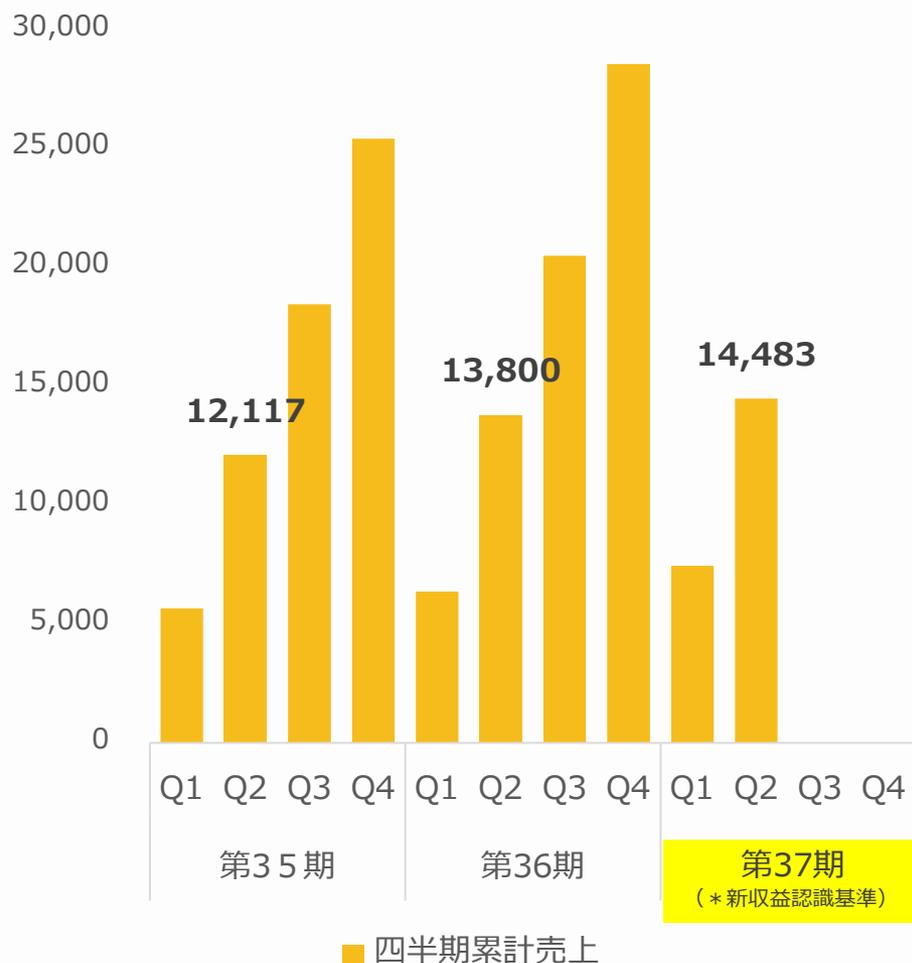


	20年3月期2Q累計	21年3月期2Q累計 (下段：新収益認識)	増減額 (下段：新収益認識比)	増減率 (下段：新収益認識比)
売上高	138億00百万	165億06百万 144億83百万	+27億05百万 +6億83百万	+19.6% +5.0%
営業利益	13億43百万	18億42百万 16億82百万	+4億99百万 +3億38百万	+37.1% +25.2%

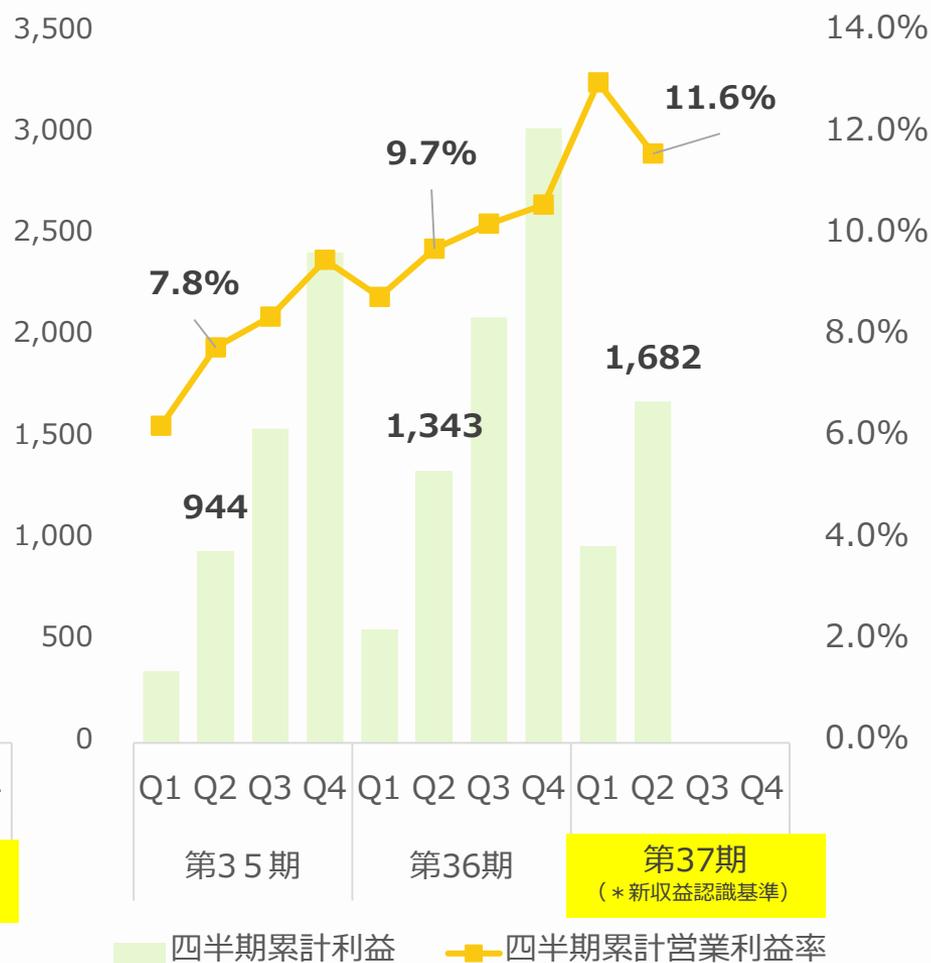
◆ 新収益認識基準の適用により、保守込みの製品販売やサブスクリプション等の期間限定ライセンスの収益認識のタイミングを厳格化し、履行義務が充足される期間に対応した収益認識を行います。

◆ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも**過去最高**を記録。

## 四半期累計売上高



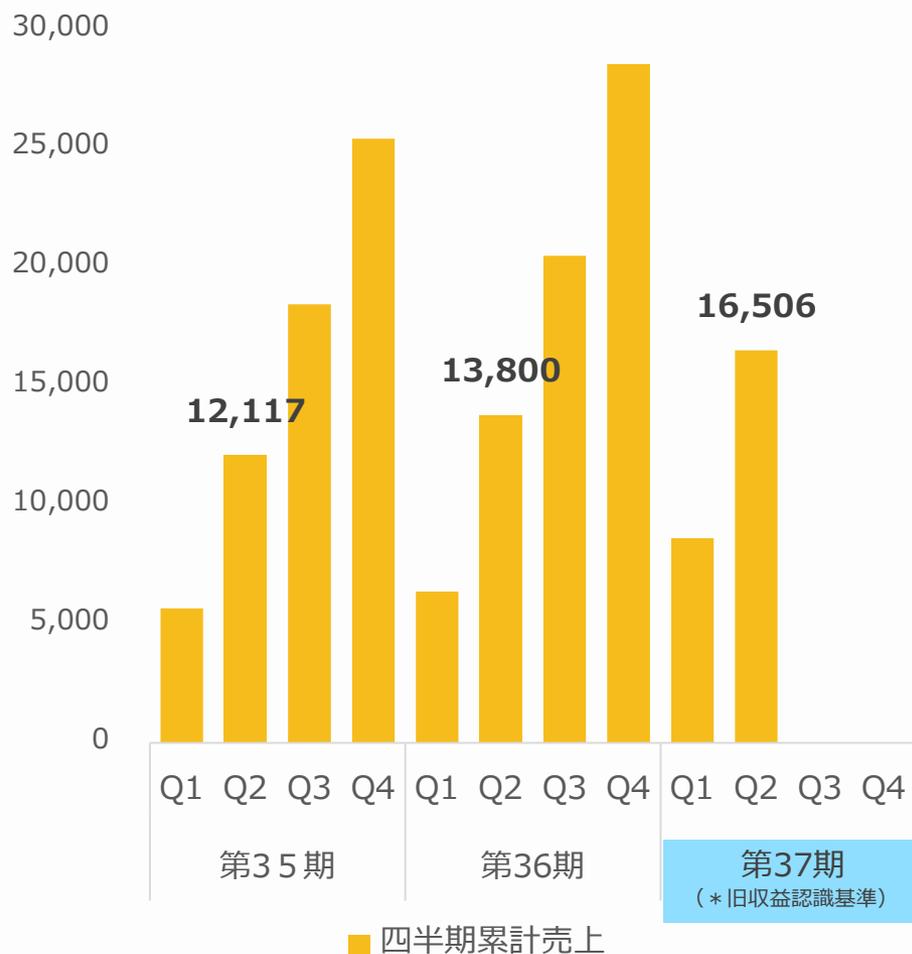
## 四半期累計営業利益



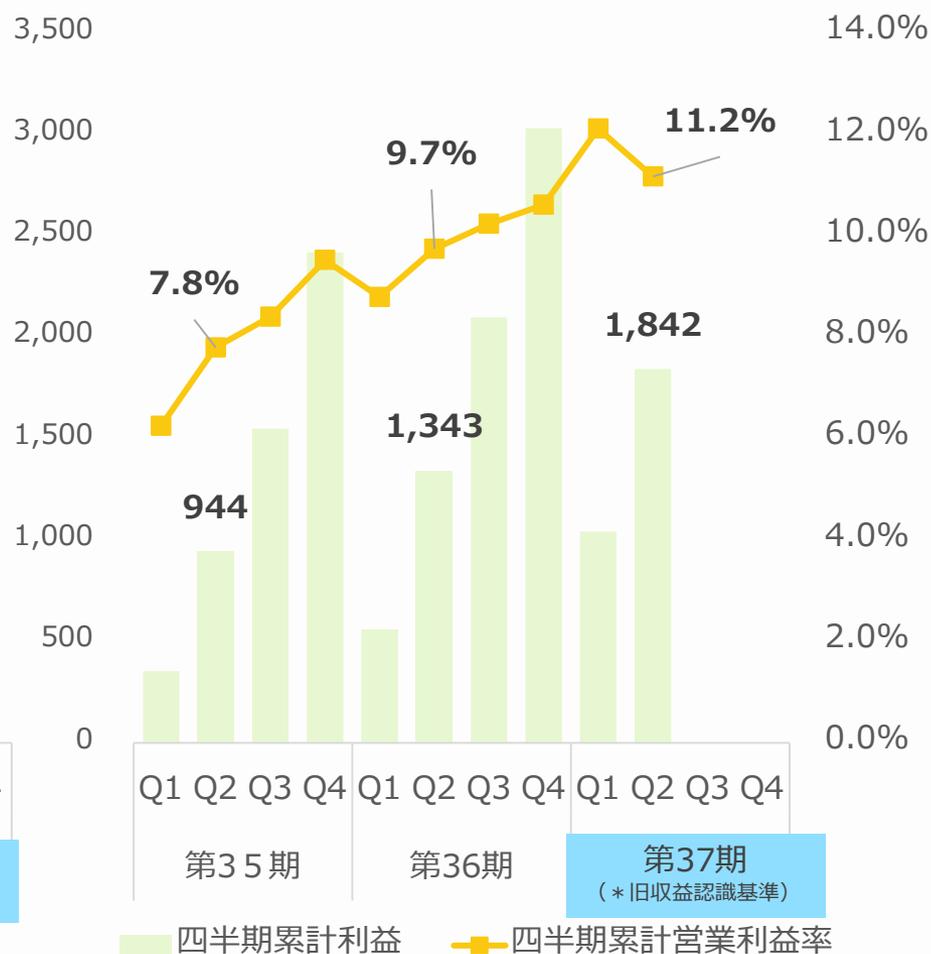
# 連結業績（四半期累計推移） \* 従来の会計基準比較

◆ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも**過去最高**を記録。

## 四半期累計売上高



## 四半期累計営業利益



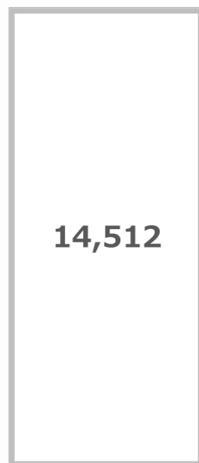
# 受注高と受注残高

- ◆ 受注高は、対前年同期比で情報基盤事業を中心に増加。
- ◆ 新収益認識基準適用により、保守一体の製品販売及びサブスクリプションの充足されていない履行義務は、収益として認識しないため受注残となる。\*収益認識基準の変更に伴う収益の影響額は、当期首の利益剰余金を加減し、当期に充足される履行義務は当期で収益認識。

## 全社合計

### 受注高

単位：百万円



20年3月期  
2Q

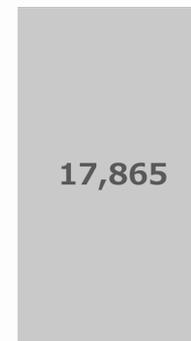
2,504

↑  
昨年比増減



21年3月期  
2Q

単位：百万円

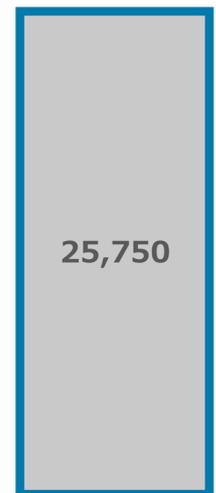


20年3月期  
2Q

### 受注残高

7,884

↑  
昨年比増減

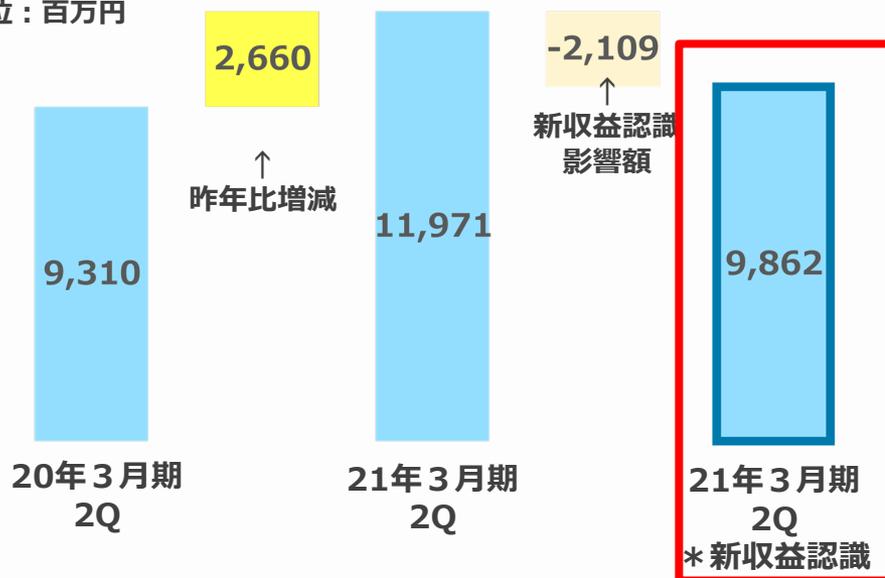


21年3月期  
2Q  
\*新収益認識

# 連結セグメント別 売上高（第2四半期累計）

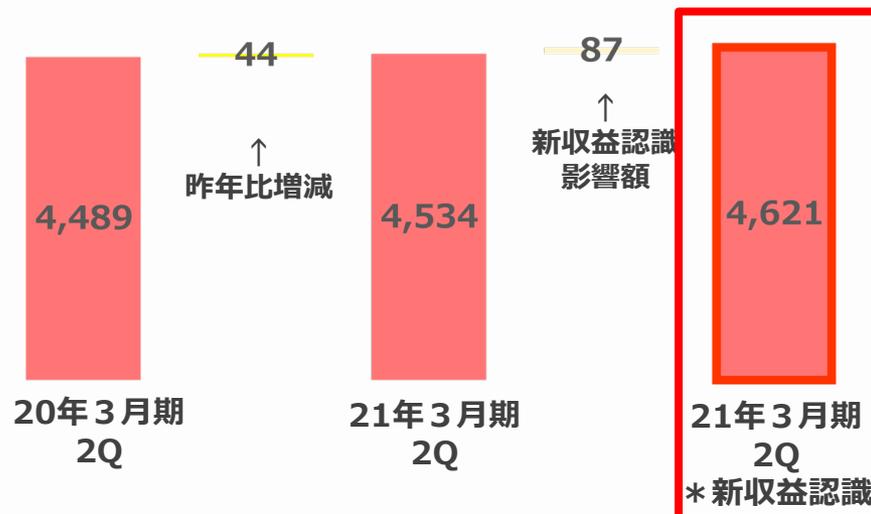
## 情報基盤事業

単位：百万円



## アプリケーション・サービス

単位：百万円



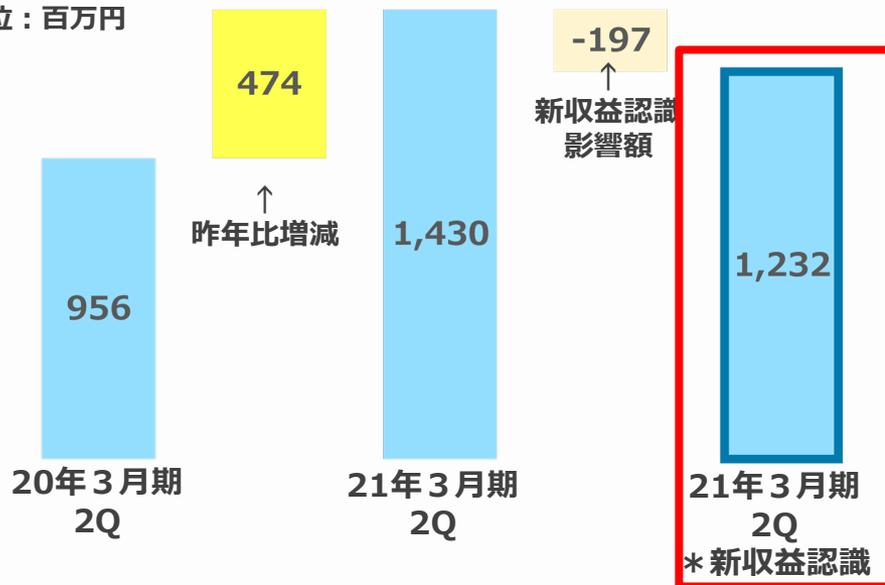
	20年3月期2Q累計	21年3月期2Q累計 (下段：新収益認識)	増減額 (下段：新収益認識比)	増減率 (下段：新収益認識比)
情報基盤事業	93億10百万	119億71百万 98億62百万	+26億60百万 +5億51百万	+28.5% +5.9%
アプリケーション・サービス事業	44億89百万	45億34百万 46億21百万	+44百万 +1億31百万	+0.9% +2.9%

- ◆ 情報基盤事業： 売上高は過去最高を記録。クラウド型のセキュリティ製品の引合いが増加。SASE関連（P20）で大型案件を受注。リモートアクセス関連製品は、20年3月期Q4からの好調なトレンドが続く。
- ◆ アプリケーション・サービス事業： 売上高は過去最高を記録。CRM分野が好調。医療分野は堅調に推移。ソフトウェア品質保証分野は対面市場の投資抑制の影響を受ける。

# 連結セグメント別 営業利益（第2四半期累計）

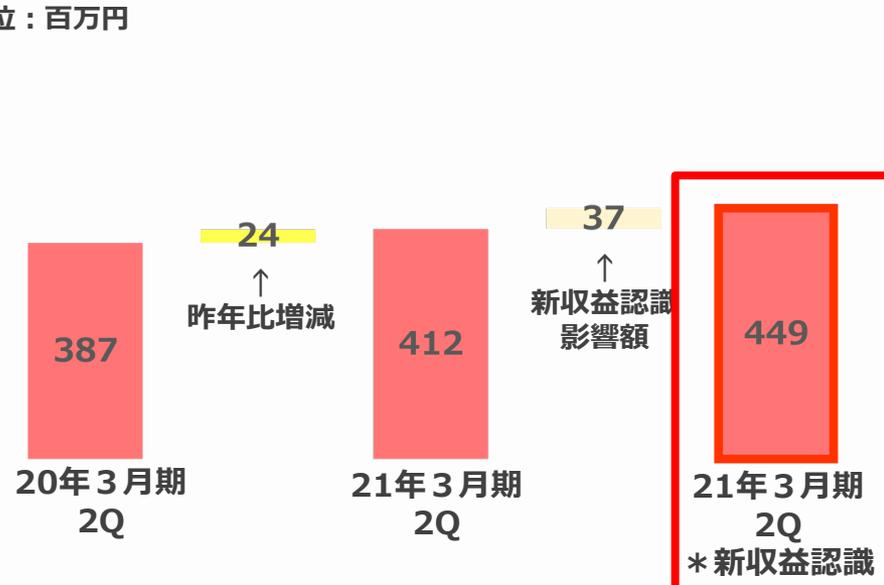
## 情報基盤事業

単位：百万円



## アプリケーション・サービス

単位：百万円



	20年3月期2Q累計	21年3月期2Q累計 (下段：新収益認識)	増減額 (下段：新収益認識比)	増減率 (下段：新収益認識比)
情報基盤事業	9億56百万	14億30百万 12億32百万	+4億74百万 +2億76百万	+49.6% +28.9%
アプリケーション・サービス事業	3億87百万	4億12百万 4億49百万	+24百万 +62百万	+6.3% +16.1%

◆ 情報基盤事業、アプリケーション・サービス事業ともに増益。いずれも、営業利益は過去最高を記録。

## 情報基盤事業

### 四半期累計売上



### 四半期累計営業利益

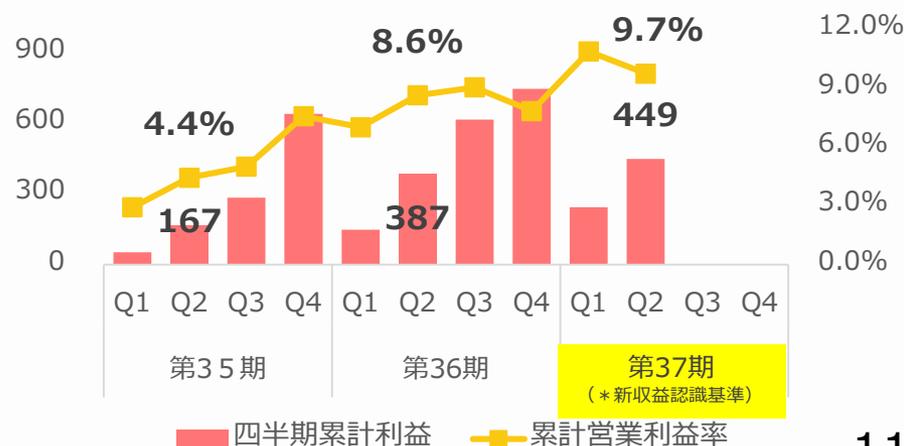


## アプリケーション・サービス事業

### 四半期累計売上



### 四半期累計営業利益



## 情報基盤事業

### 四半期累計売上



### 四半期累計営業利益



## アプリケーション・サービス事業

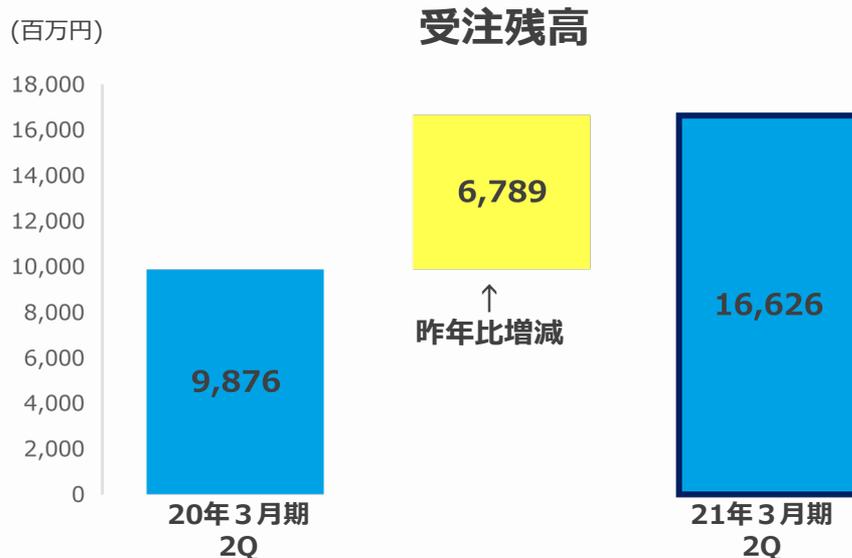
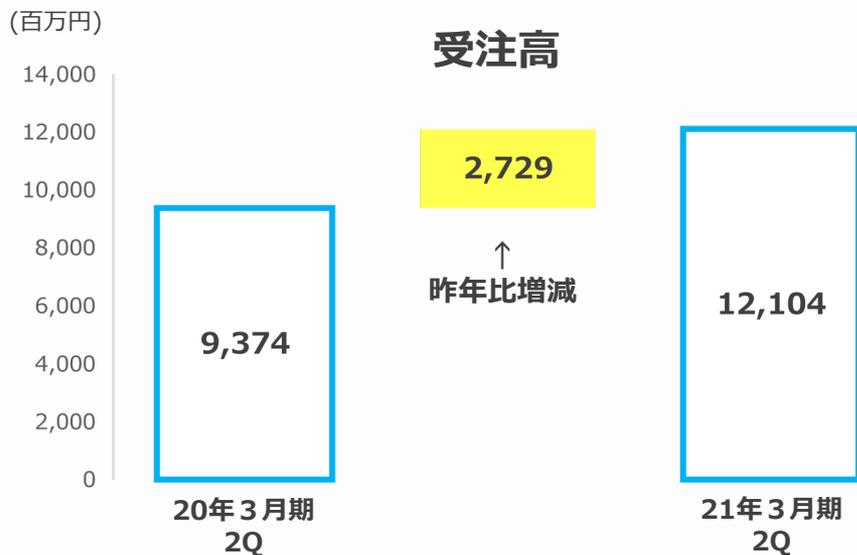
### 四半期累計売上



### 四半期累計営業利益

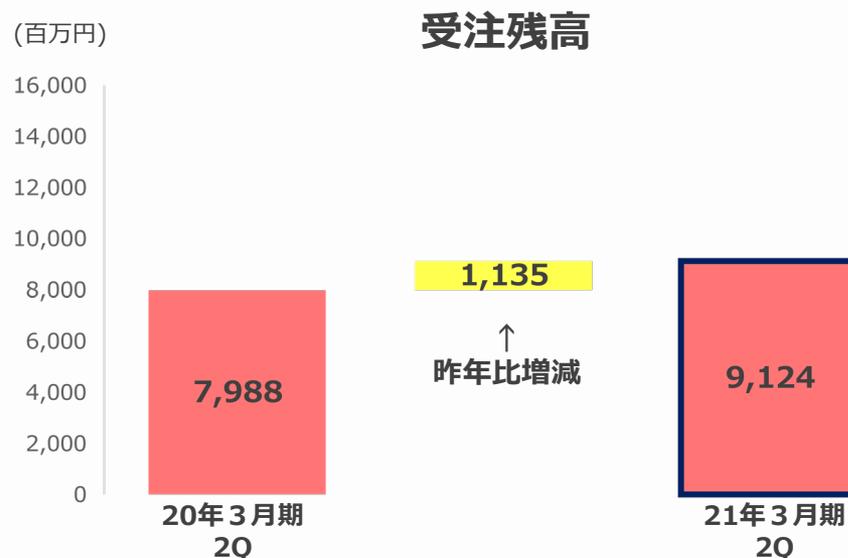


## 情報基盤事業



\* 新収益認識

## アプリケーション・サービス事業



\* 新収益認識

◆情報基盤事業（売上高）	対前年同期比 （旧収益基準）	対前年同期比 （新収益基準）
負荷分散装置等 (BIG-IP, EDGE)		
次世代ファイアウォール(PaloAlto, Traps)		
アンチウイルス/不正侵入防衛/セキュリティイベント管理/Webセキュリティ		
個人認証システム/フォレンジック製品/ストレージ製品		
セキュリティ運用・監視サービス		
その他セキュリティ製品		
クロスヘッド・沖縄クロス・ヘッド		
◆アプリケーション・サービス事業（売上高）	対前年同期比 （旧収益基準）	対前年同期比 （新収益基準）
ビジネスソリューション分野（カサリアル含む）		
ソフトウェア品質保証分野		
医療分野（NOBORI、医知悟含む）		
CRM分野		



+10%以上



+10%未満



±5%未満



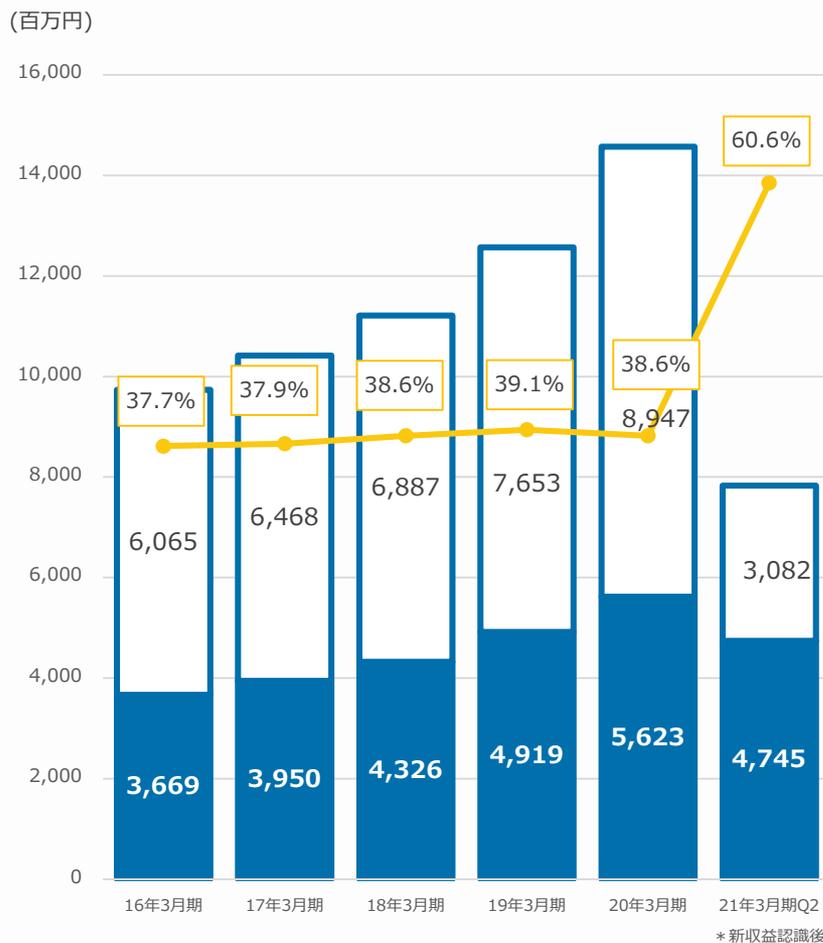
△10%未満



△10%以上

# ストック比率の進捗状況（単体+株式会社NOBORI）

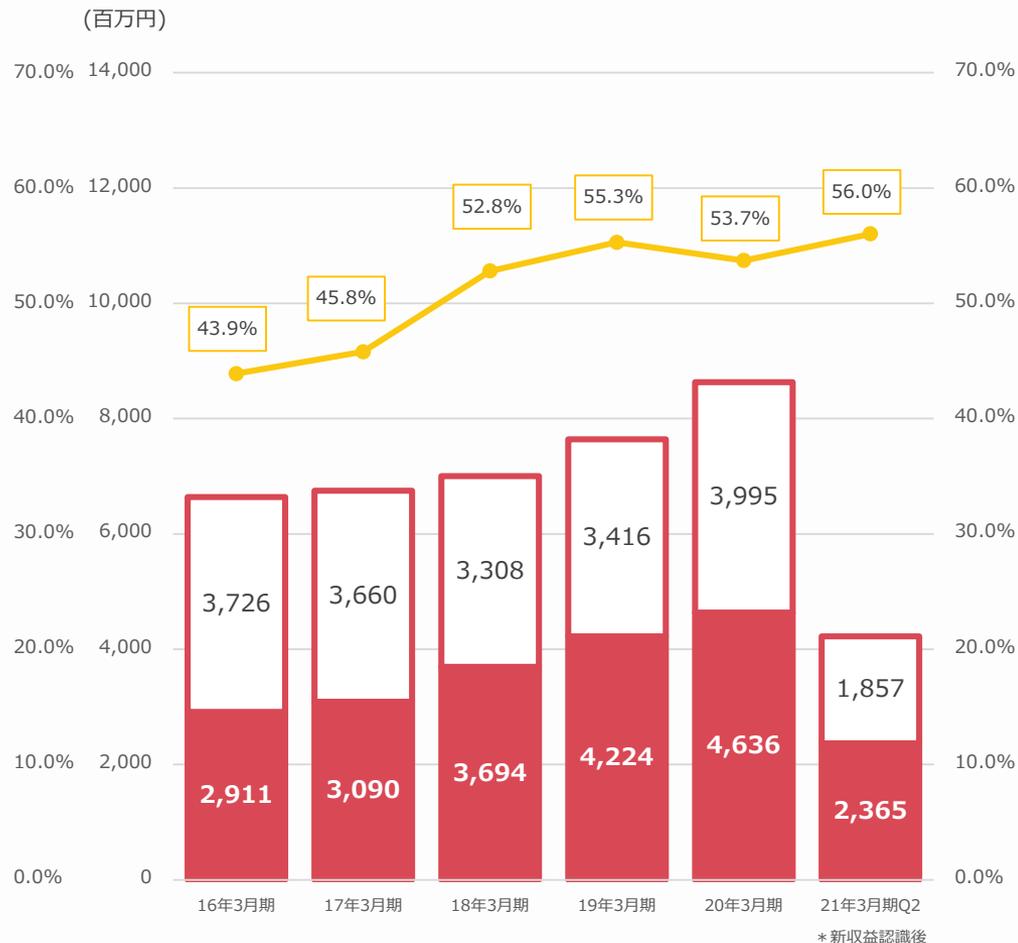
## 情報基盤事業



■ ストック    □ 非ストック    ● ストック割合

\* 新収益認識基準適用により、これまでフローとして計上していた売上（保守一体の製品販売や一部のサブスクリプション型）を厳格にストック計上。これにより、情報基盤事業のストック比率が向上。

## アプリケーション・サービス事業



■ ストック    □ 非ストック    ● ストック割合

\* 新収益認識基準適用により、これまでフローとして計上していた売上（主にテスツツールの売上）を厳格にストック計上。従前からのクラウドビジネスの積み上げも奏功し、アプリケーション・サービス事業は、ストック比率が向上。

# 連結貸借対照表 (B/S)

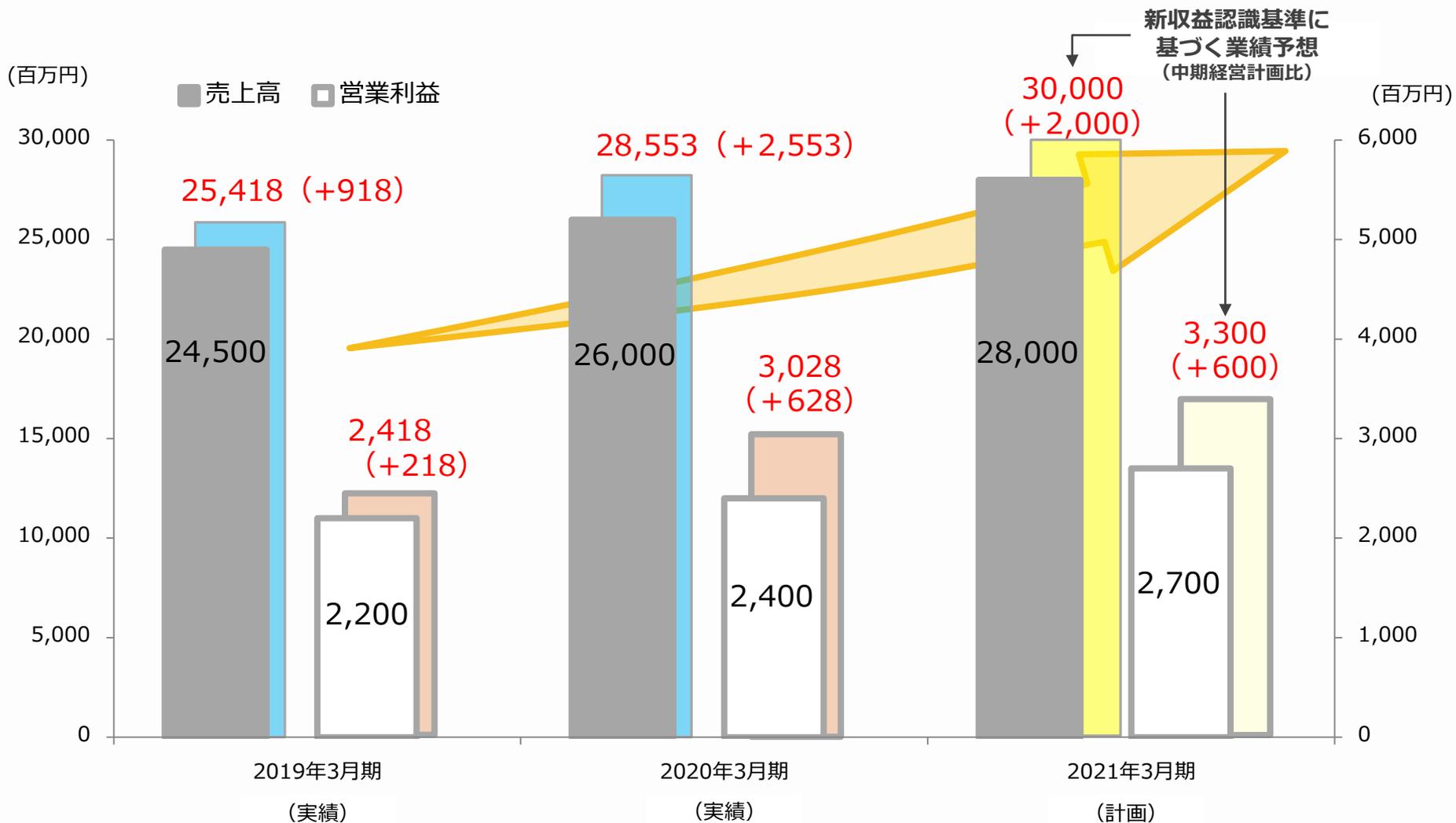
◆ 新収益認識基準の適用に伴い、「その他流動資産」に含まれる「前渡金」及び「その他流動負債」に含まれる「前受金」が増加しております。

(単位：百万円)

	20年3月期	21年3月期 Q2		20年3月期	20年3月期 Q2
<b>流動資産合計</b>	<b>24,367</b>	<b>27,018</b>	<b>流動負債</b>	<b>11,908</b>	<b>15,062</b>
現金・預金	13,396	13,244	買掛金	1,450	659
受取手形・売掛金	5,683	3,191	短期借入金	450	450
その他流動資産	5,287	10,582	1年内返済予定の 長期借入金	250	200
			その他流動負債	9,758	13,752
<b>固定資産</b>	<b>5,256</b>	<b>5,808</b>	<b>固定負債合計</b>	<b>2,709</b>	<b>2,603</b>
有形固定資産	1,318	1,405	長期借入金	900	800
のれん	-	-	その他固定負債	1,809	1,803
無形固定資産	1,373	1,380	<b>負債合計</b>	<b>14,618</b>	<b>17,666</b>
投資その他の資産	2,565	3,022	株主資本	13,651	13,686
			その他の包括利益累計額合計	6	61
			新株予約権	77	87
			非支配株主持分	1,269	1,324
			<b>純資産合計</b>	<b>15,005</b>	<b>15,160</b>
<b>資産合計</b>	<b>29,623</b>	<b>32,826</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>29,623</b>	<b>32,826</b>

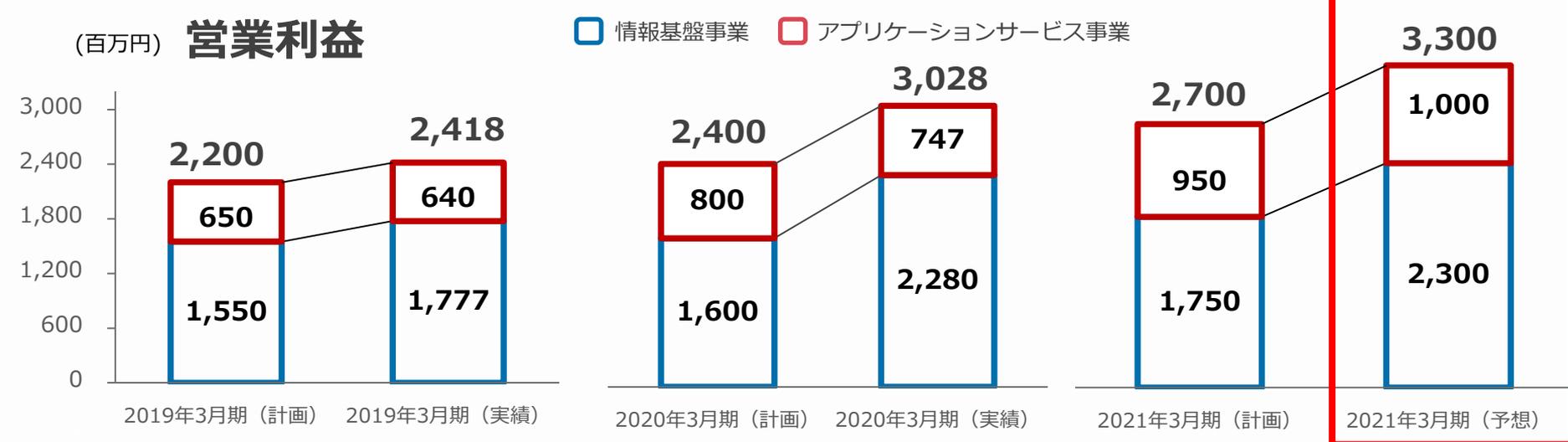
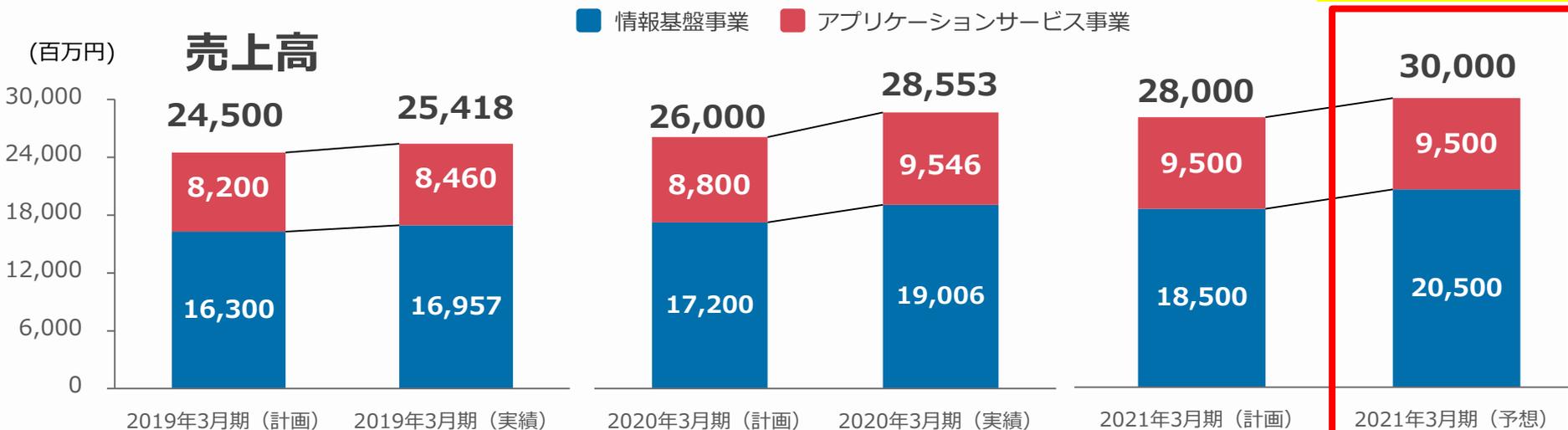
\* 自己資本比率 20年3月期：46.1% 21年3月期第2四半期：41.9%

## 中期経営計画（GO BEYOND 3.0）の進捗



# GO BEYOND 3.0の計画値と実績 ※連結

新収益認識基準に基づく業績予想



## 2. 事業活動トピックス

**Alaxia**

**appgate**

**AppScan**

**aruba**

a Hewlett Packard  
Enterprise company

**BlackBerry**

**BUFFERZONE**

**COHESITY**

**DELL** Technologies



**FORESCOUT**



## <ニューノーマル時代のIT活用>

イベント：ネットワークセキュリティ事業部Webセミナー開催

➤ 顧客接点の増加とニーズの発掘、情報提供を目的（\* **135名参加**）

**テーマ**：テレワークを推進する上で重要なセキュリティとその管理について



## <基調講演>

- 成長を望む企業はもう戻らない  
これからの時代のテクノロジー活用の方向性とセキュリティ対応  
PwCコンサルティング合同会社 パートナー 丸山 満彦 氏
- デジタル経営のリスクマネジメント  
日本セキュリティマネジメント学会代表理事・会長  
工学院大学 名誉教授 大木 榮二郎 氏
- コロナ禍により喪失したセキュリティと出現したサイバーリスク  
株式会社サイバーディフェンス研究所  
専務理事 上級分析官 名和 利男 氏

## <TMXセッション> (抜粋)

- テレワークを阻むリモートアクセスの課題と最適解  
～にわかテレワークで見てきたセキュリティ課題にどう取り組むのか？～
- 次世代ファイアウォールでセキュアなテレワーク環境を実現しませんか？  
～クラウド時代のセキュリティモデル「SASE」での最適解～
- 緊急事態宣言後のテレワークで直面したVPNの課題とその解決策
- テレワーク拡大でリスクも増加！エンドポイントを守る最後の砦  
～AIアンチウイルスで何がかわる？検知率だけではない！採用すべき理由とは～



## VPNの弱点を補うべく、セキュリティ製品「Appgate SDP」への注目

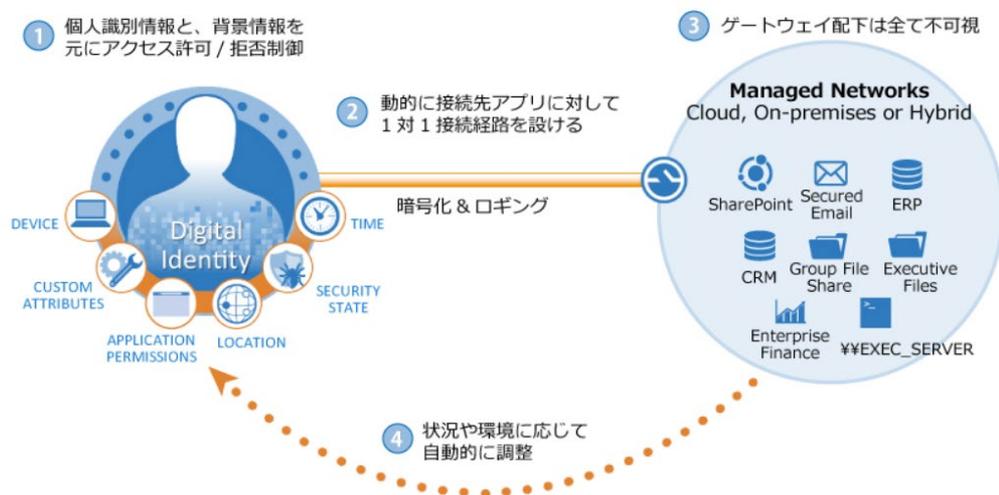
### <VPN機器へのサイバー攻撃が急増>

- 急速にテレワークが普及する中、遠隔アクセスにて使用するVPN（仮想施設網）の認証情報の流出被害が国内で複数発生

**Point!** ☞ **ゼロ・トラストモデルによるセキュリティの構築**

⇒ **「利用者や利用者のデバイス、ネットワークのすべてを信頼しない」**

#### Appgate SDP機能概要



- SDP : Software-Defined Perimeterの略であり、情報資産に安全にアクセス可能な新たなフレームワーク。
- SDPは多段階で様々な認証
  - ✓ 正しいユーザ、正しいロケーション、正しいアクセス時間帯…など、多くの要素で認証し、今そのアプリケーションへアクセスできる人しかアクセスをさせない
- 万が一、内部が汚染されていたとしても、盗聴やハッカーの横移動、ウイルス感染などから企業のデータを保護し、セキュアに利用可能にするという視点

## クラウドセキュリティの需要の高まり

### <統一されたセキュリティポリシーの重要性>

- テレワークの普及、他拠点企業におけるセキュリティポリシー統一の必要性が高まる

**Point!** ➡ デバイスや利用者のロケーションに依存しないセキュリティの提供

**SASE** : Secure Access Service Edge (サッシー) の略でネットワークとネットワークセキュリティを単一のフレームワークで提供するクラウドサービス

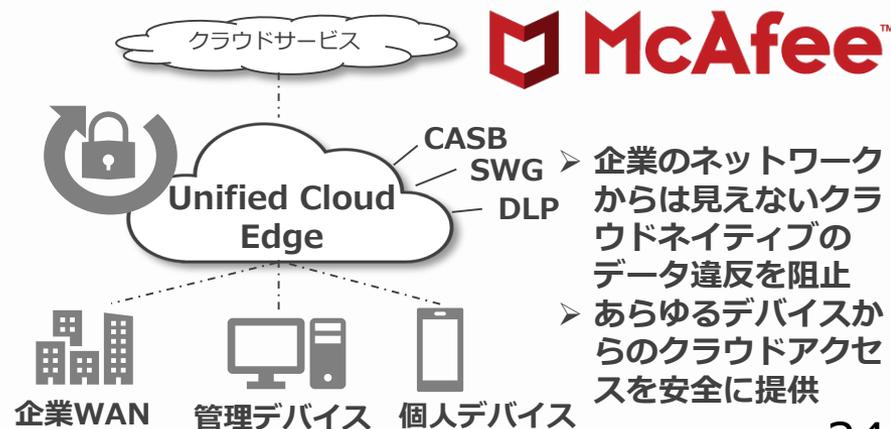
### Palo Alto Networks Prisma Access

～次世代ファイアウォールの機能をクラウド上で提供～



### McAfee MVISION Unified Cloud Edge

～デバイスからクラウドまで網羅・一貫したデータ・脅威からの保護とコントロール～



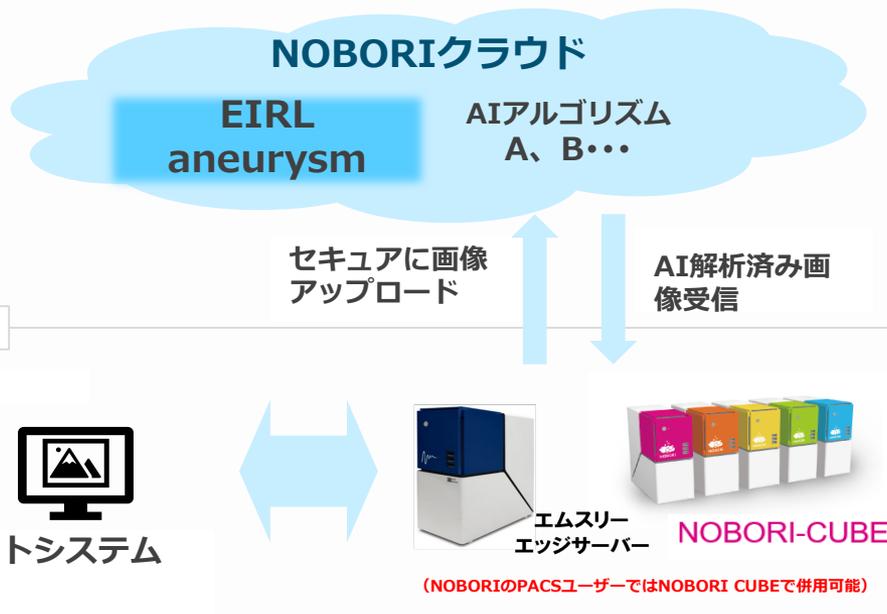
# NOBORI

エムスリー株式会社と業務提携、両社にて医用画像診断支援AIプラットフォーム事業を推進

## <AIによる診療現場支援を浸透・加速>

- Point!**  **多様な画像診断支援AIアルゴリズムを両社で構築したAIプラットフォームに搭載**
- AIアルゴリズムは部位（頭部、肺など）ごとに複数ラインナップを予定

## ～エルピクセル社 EIRL aneurysm サービスの提供を開始～



### ◆ 脳動脈瘤の疑いがある部分を自動で検出し、医師の診断を支援

- ✓ 医師単独で読影した場合の感度※ 68.2 %に対し、本ソフトウェアを用いて読影した場合は感度 77.2 %と診断精度の向上が認められた
- ✓ 深層学習を活用した脳MRI分野のプログラム医療機器として、**国内で初めての薬事承認**を取得

※疾患部位を陽性と正しく判定する指標

## NOBORI

### TXP Medical株式会社と業務提携

救急指定病院向けの総合業務支援ツール「NEXT Stage ER+」を提供開始

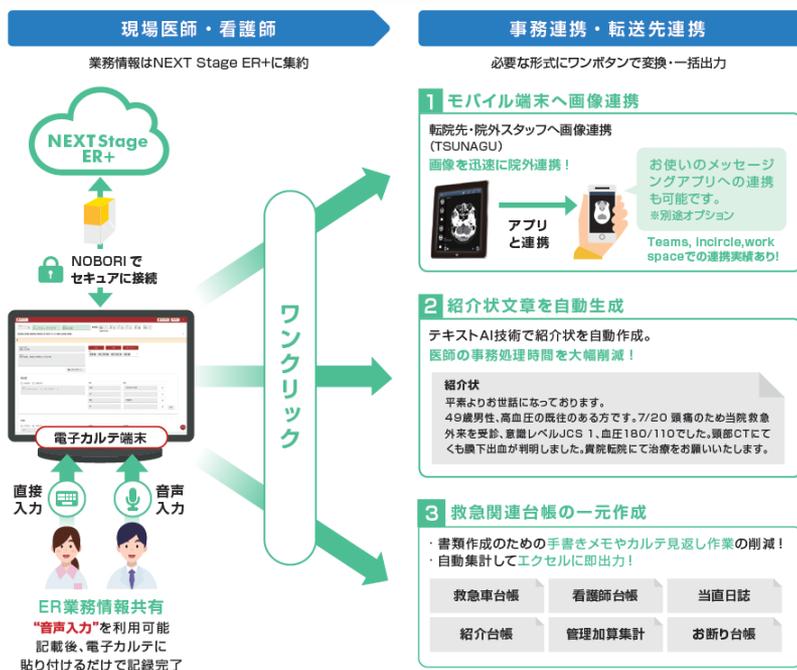
#### <救急医療体制の強化と医療従事者の業務効率化支援>

**Point!**

➤ **2020年度診療報酬改定**

- ・ 救急車受入台数2,000台以上を確保する救急医療体制の強化
- ・ 病院医療従事者の働き方改革

⇒ITシステムの適切な活用、救急隊との情報連携、各種書類業務の効率化が必要



#### NEXT Stage ER+ の機能概要

- **PACS ※画像情報の院内外・高次医療機関との連携**  
※PACS：大容量の医療情報・画像データ等を安全に管理するサービス
- **救急外来情報共有・各種台帳作成**
- **紹介状の自動作成**
- **音声コマンド入力**

33,439,700

「NOBORI」に画像を保管している患者数

193,145,000

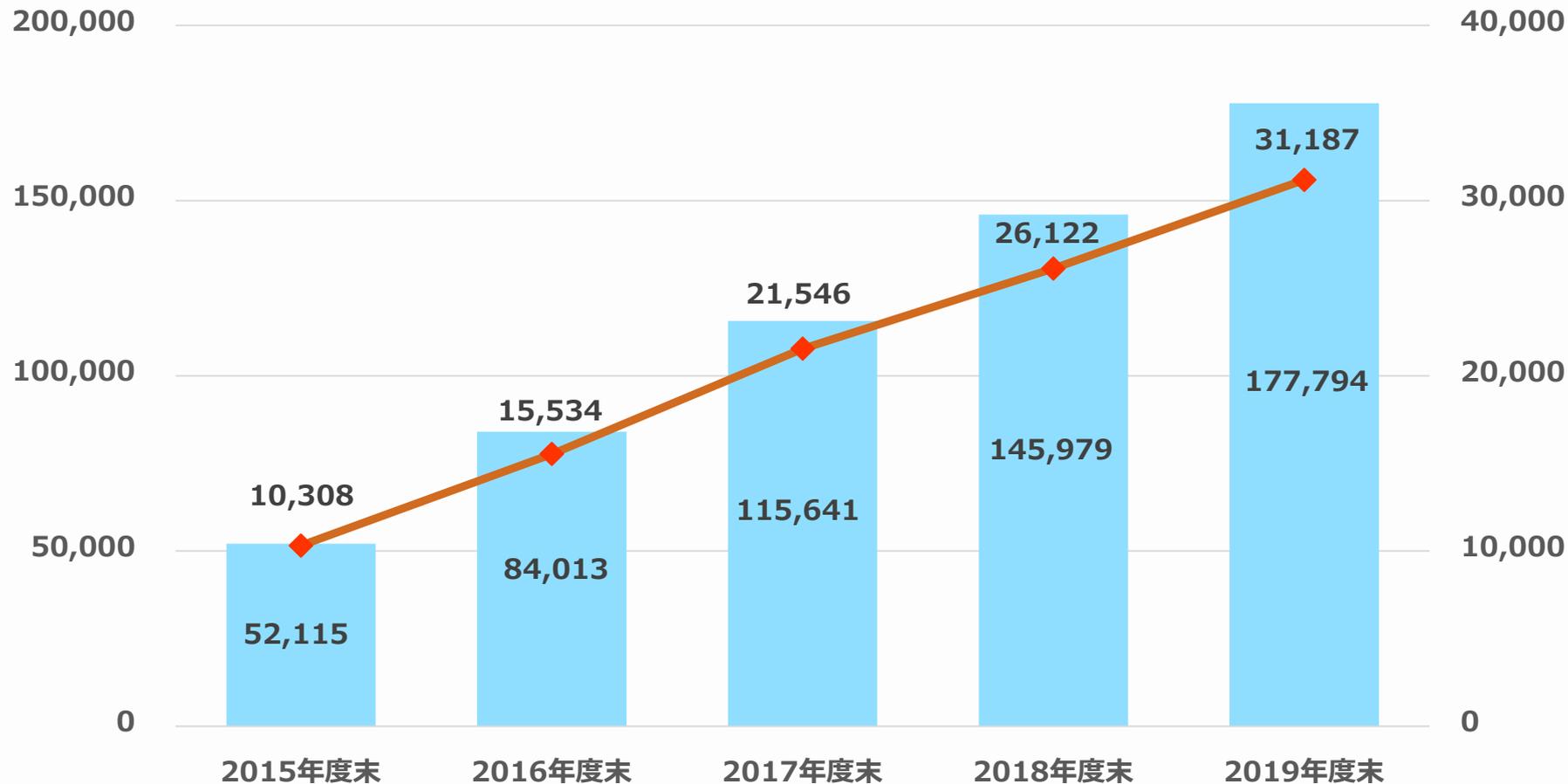
「NOBORI」に保存する検査件数

(2020年9月末時点)

## NOBORI保存データ推移

(件数：千件)

(人数：千人)



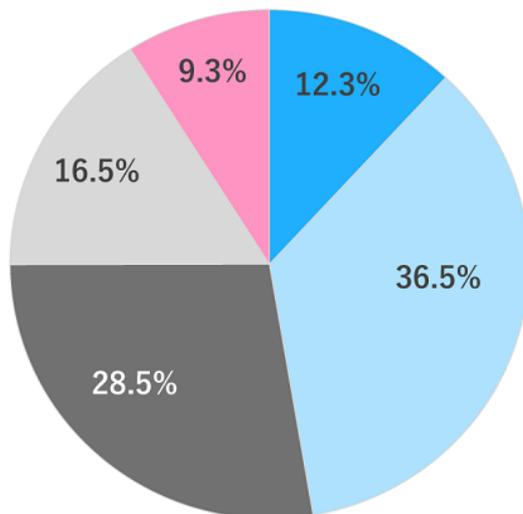
■ 「NOBORI」に保存する検査数 (左目盛)    ◆ 「NOBORI」に画像を保管している患者数 (右目盛)

## COVID-19の影響によるコンタクトセンターの在宅化の動向

### <テクマトリックスによるアンケート結果>

- 緊急事態宣言下で、コンタクトセンターの**在宅化を全面的または一部実施した企業が48.8%**  
コンタクトセンターの**在宅化を実施検討中の企業が28.5%**
- 課題は、「セキュリティ」「設備（電話機、PCなど）」「CRMなどのシステム」などITソリューションの導入や見直し

緊急事態宣言下のコンタクトセンター在宅化状況



### ➤ コンタクトセンター在宅化のためのITソリューション

- ・ ノンボイス系チャネル（メール・チャット）の拡充
- ・ FAQ（よくある質問）コンテンツの充実

# TechMatrix

## FastHelp5

## FastChat

## FastAnswer2

※オンプレミス型 / クラウド型のどちらも対応可能

※テクマトリックス株式会社によるアンケート概要  
コンタクトセンターにおける意識調査  
実施期間：2020/6/2~2020/6/12  
実施方法：Web、有効回答者数：1,066名

©2020TechMatrix Corporation.

## F3 CVA※ 試算/計測サービスにマージナルCVAの計測機能を追加

※CVA : Credit Value Adjustmentの略で、デリバティブ契約において、取引相手が契約期間中に倒産しない前提で計算した価格と取引相手の倒産の可能性を加味して計算した価格の差額。

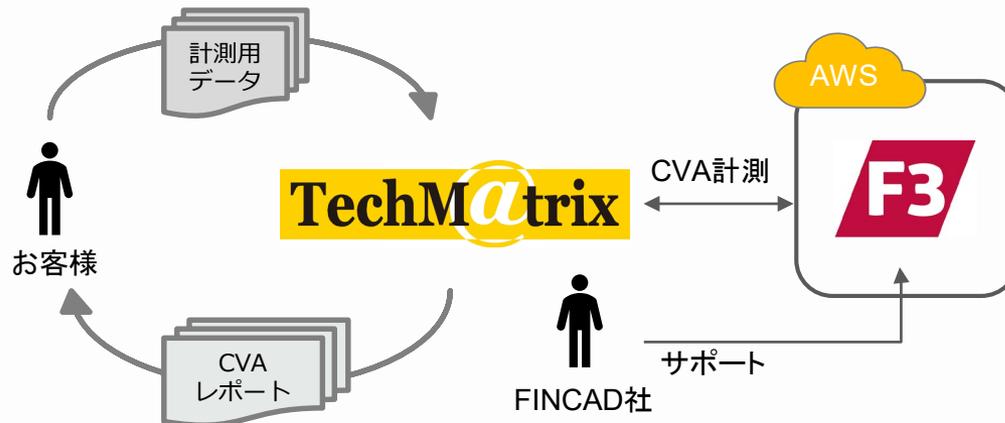
### <金融商品の時価算定>

時価算定会計基準等にてCVAを時価に反映させることが求められる（2021年4月）

**Point!** ➤ マージナルCVA計測機能の追加

**マージナルCVA** : カウンターパーティごとにネットィングを考慮して算出されたCVA/DVAを、各取引に案分した値。どの取引がCVAに大きく影響を与えているかを確認することができる。

### CVA試算/計測サービスのイメージ



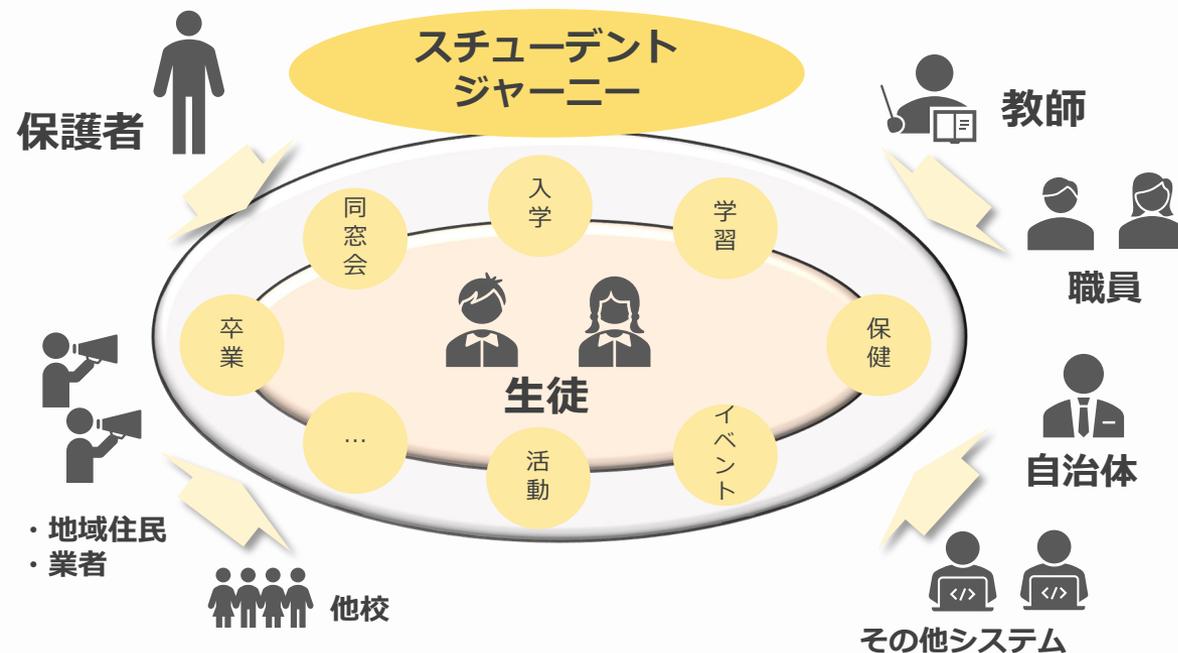
- 試算/計測サービスの提供は、テクマトリックスとして2019年11月から開始
- CVA試算はワンショットから、CVA計測は定期的な計測レポートを提供
- メインターゲットは地方銀行

## 学校法人軽井沢風越学園向けに学びの個別化を実現するコミュニケーション・プラットフォーム「typhoon」（タイフーン）を新規開発～導入

**typhoon** : 統合コミュニケーションプラット・フォーム+校務支援システム  
 ・子ども自身が学びのコントローラを持ち続けられる土台のシステム

**Point!** 👉 生徒を中心に、あらゆるタッチポイントを統合管理  
 スチューデントジャーニーの可視化⇒その情報を最大限に有効活用

typhoonコンセプトモデル



<2020年9月 スマホ版リリース>  
 特に保護者とのオンライン・コミュニケーションがより加速



日付	内容
5月	株式会社NOBORI、エムスリー株式会社と業務提携
	株式会社NOBORI、PHRサービスを提供開始
	クロス・ヘッド、自社サービス「CROSSLINK」シリーズに新機能-cybozu.comとOffice365のユーザー情報を同期-
	株式会社NOBORI、インドDeepTek社へ出資、資本・業務提携
	クロス・ヘッド、24x7 ITサービスセンターを97%リモートワーク化
	クロス・ヘッド、「お手軽！リモートワーク接続パック」の提供を開始
	株式会社NOBORI、COVID-19遠隔読影と画像診断支援AIシステムを全国の医療機関100施設に期間限定で無償提供
	テクマトリックス、学校法人軽井沢風越学園向けに学びの個別化を実現するコミュニケーション・プラットフォーム「typhoon」（タイフーン）を新規開発～導入
	LIBOR廃止を見据えた金融商品評価・分析ツール「F3」最新版の国内販売を開始

日付	内容
6月	株式分割及び定款の一部変更並びに株主優待制度に関するお知らせ
	株式会社NOBORI、エルピクセル株式会社との業務提携に合意 エムスリー株式会社と共同で運営する医用画像診断支援AIプラットフォームにてエルピクセル社EIRL aneurysmサービスの提供を開始
	AI技術によるセルフヒーリング機能やレコメンド機能でSeleniumのテストを強化する「Parasoft Selenic」の販売を開始
	クロス・ヘッド、テレワーク時代の情報漏洩対策と生産性向上をワンストップサービスで実現する「CROSS HEAD Advanced Security Service」の提供を開始
	クロス・ヘッド、情報漏洩対策と生産性向上を実現するBitLocker管理ソリューション「BitManaクラウドサービス」の提供を開始
	株式会社NOBORI、AI医療技術「COVID-19肺炎画像解析プログラム Ali-M3」の販売開始
	強力なオブジェクト認識能力を誇るUIテスト自動化ツール「Ranorex日本語版」に最新版のVersion 9.3が登場

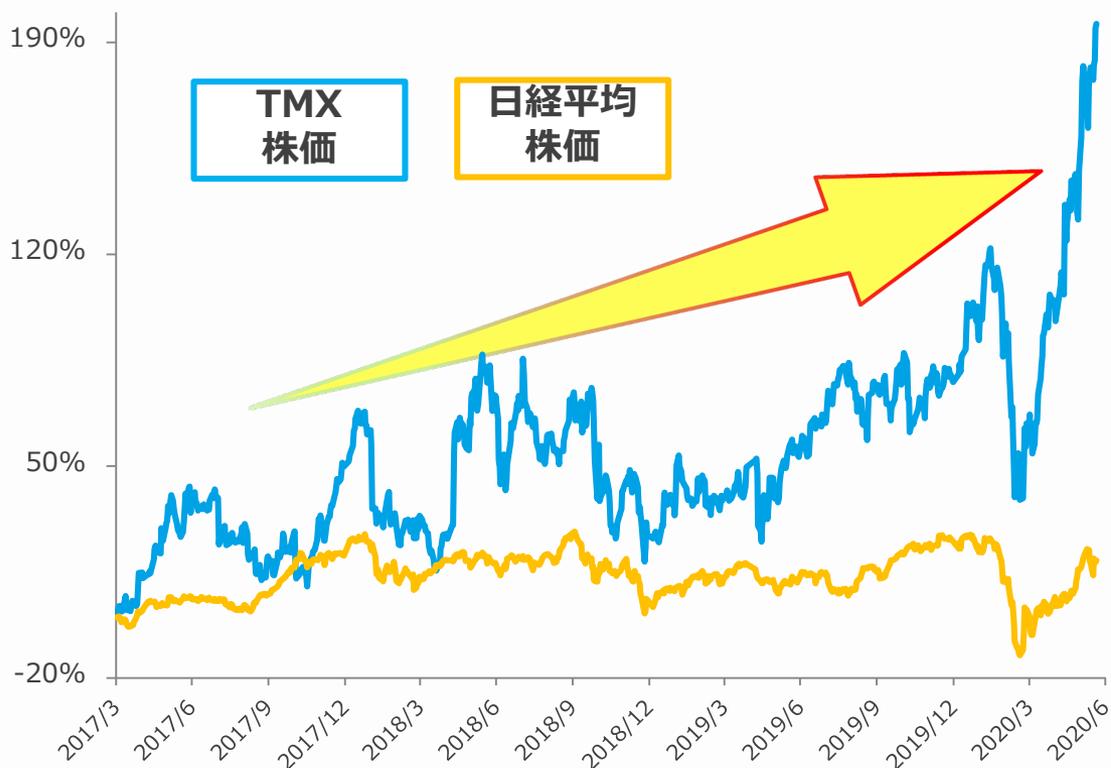
日付	内容
7月	F3 CVA試算計測サービスを強化 各取引のCVAへの影響度確認に有効な「マージナルCVA計測機能」を追加
	株式会社NOBORI、TXP Medical株式会社と業務提携
	アーキテクチャ分析ツール「Lattix 日本語版」 Version 11の販売を開始
	沖縄クロス・ヘッド、株式会社ロゼッタと販売代理店契約を締結・業務提携
	クロス・ヘッド、ファイル暗号化ソリューション「DataClasys」とメール誤送信対策ソリューション「BRODIAEA safeAttach」との連携によるソリューション提供を開始
8月	テクマトリックス、grasys社とパートナー契約締結
	Java対応テスト自動化ツール「Jtest 2020.1」の販売を開始
	クロス・ヘッド、サイボウズGaroonとMicrosoft Teamsとの予定同期を可能にするサービスを提供

日付	内容
9月	統合監視/インシデント対応を行うサービス「TPS」にサイバーセキュリティ保険を自動付帯し提供を開始
	テクマトリックス、福岡県福岡市に九州営業所を開設 西日本地域でのサービス提供を強化
	株式会社NOBORI、COVID-19肺炎AIの無償支援プロジェクト拡大のお知らせ
	株式会社カサレアル、HashiCorpとトレーニングパートナー契約を締結

# 株式分割の実施

- ◆ 流動性の向上と投資家層の拡大を企図して、6/30を基準日（7/1効力発生日）として1：2の割合で株式分割を実施

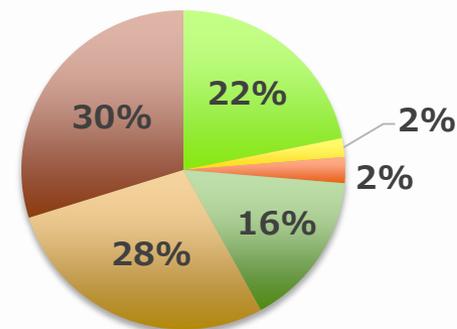
## 直近株価パフォーマンス



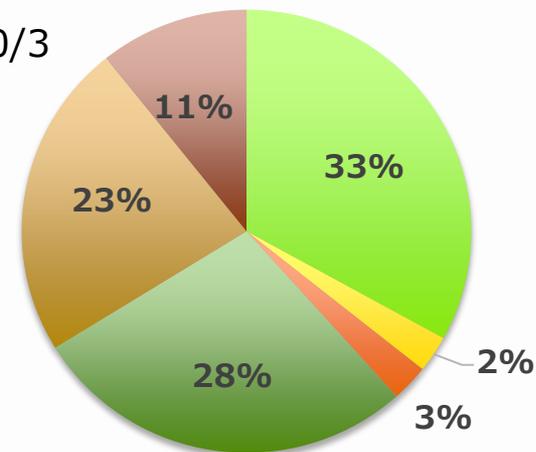
- 2017/3末を基準として作成
- 2020/6/1の大引け後に株式分割を発表

## 株主構成の変化状況

2017/3



2020/3



- 金融機関
- 金融商品取引業者
- その他の法人
- 外国法人等
- 個人・その他
- 自己名義株式

# 3. 中期経営計画 「GO BEYOND 3.0」

TMX 3.0 の事業戦略は引き続き継続

- **クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進**
- **セキュリティ&セイフティ（安心と安全）の追求**

1 事業運営体制の多様化  
（資本提携、業務提携、大学・研究機関との連携、オープンイノベーション）

2 サービス化の加速（全領域）

3 データの利活用（AIの利用を含む）

4 BtoC（消費者向けビジネス）への参入

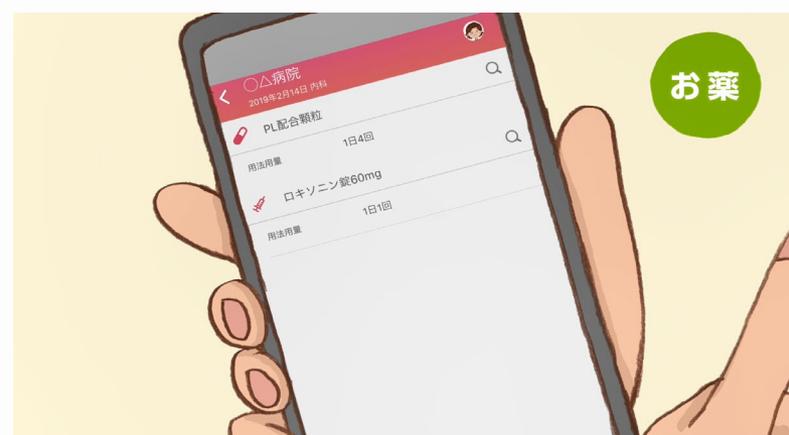
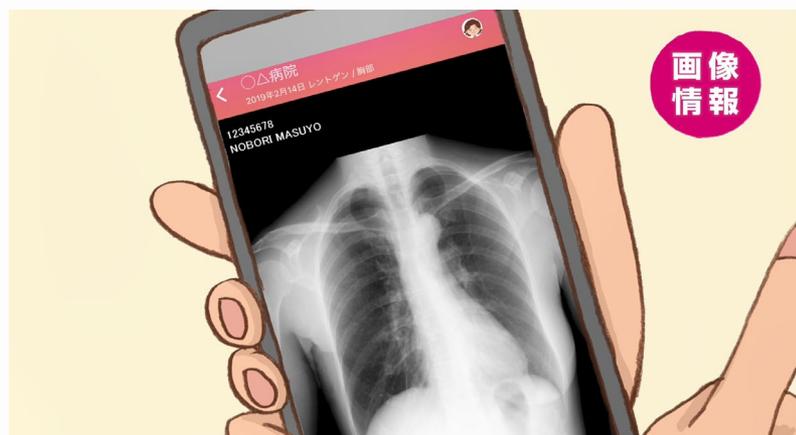
5 海外市場での事業を加速（市場探査モードから次のステップへ）

6 事業運営基盤の強化  
（グループ横断・事業部門内での人財や技術の有効活用、各分野の融合による新しい価値の創出、人財への投資と次世代の育成、  
企業理念に基づく採用・育成・評価・リテンション）

7 M&A（金庫株の活用を含む）

# NOBORI

個人向け(患者向け)のPHR (Personal Health Record) サービス



## TechMatrix Premium Support powered by TRINITY

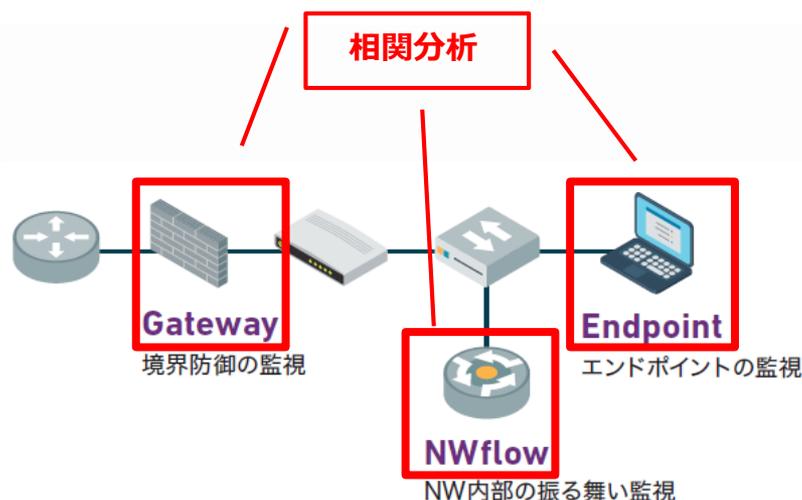
テクマトリックスが**独自開発**した、数百パターンに及ぶ脅威シナリオによって  
相関分析を行う**セキュリティ統合監視サービス**

※TRINITY<トリニティ>は、ICT基盤の運用代行や監視を行うテクマトリックスの独自サービスです。

### ■従来のデバイス単体監視の課題

- 1) 従来の単一製品の監視では、事象に対して『**点**』の**分析**となってしまう。
- 2) **各製品毎**に運用担当者や監視ベンダが異なることで、調査や情報連携、**一次対応が遅延**してしまう。
- 3) 暗号化通信の増加や巧妙化した攻撃手法により、**監視・分析が困難な通信が増加傾向**にある。

### ■網羅的な統合セキュリティサービスを提供し『**点**』ではなく『**面**』で捉える

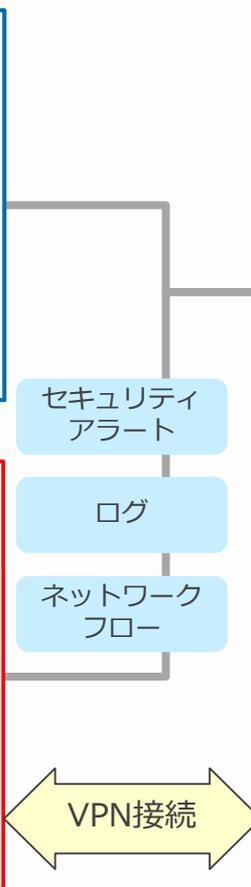
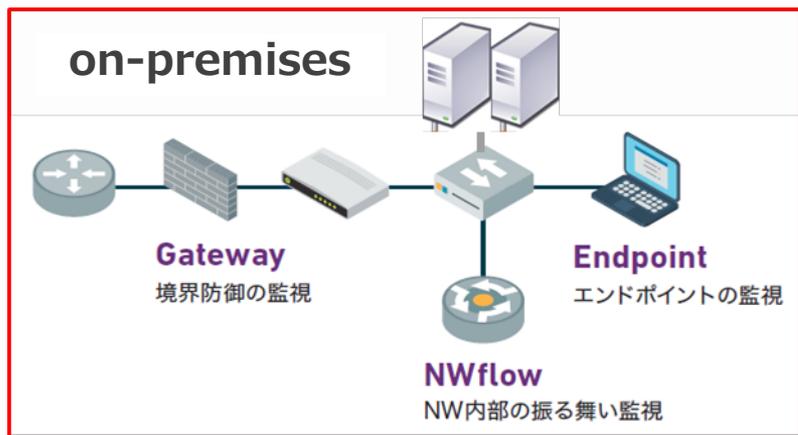
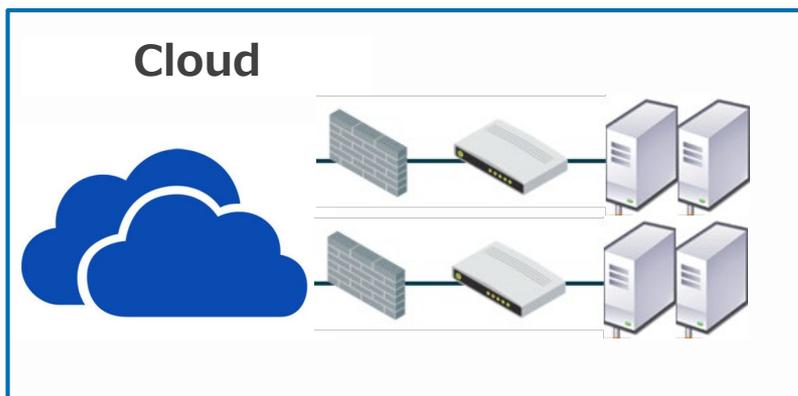


企業組織内のネットワークで発生する様々なセキュリティインシデントを『**点**』ではなく『**面**』で捉える「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY」では、ゲートウェイ、ネットワーク内部、エンドポイントの3点を軸とした網羅的な統合セキュリティ監視と**相関分析**を行い、**未知マルウェア**に対するセキュリティ対策基盤の強化を実現します。

## TechMatrix Premium Support powered by TRINITY

「包括的な脅威の検出と可視化」と「セキュリティ運用の効率化」を提供し  
未知のマルウェアに対する**セキュリティ対策基盤の強化**を実現します。

※TRINITY<トリニティ>は、ICT基盤の運用代行や監視を行うテクマトリックスの独自サービスです。



セキュリティアナリスト

TechMatrix Premium Support  
powered by TRINITY

**セキュリティ監視**

- ・複数製品の相関分析
- ・NWフローからの脅威・異常検出
- ・AIやマシンラーニングの活用

**保守サポート**

- ・ワンストップによる統合的な機器運用
- ・テクニカルサポート

**セキュリティ研究**

独自開発した最先端の脅威シナリオに基づき作成される相関分析ルールを活用したインシデントハンドリングを提供

## TechMatrix Premium Support powered by TRINITY

マカフィーとEDRの事業領域において協業を開始

～インシデント対応支援サービスにマカフィー提供の「McAfee MVISION EDR」を追加

※TRINITY<トリニティ>は、ICT基盤の運用代行や監視を行うテクマトリックスの独自サービスです。

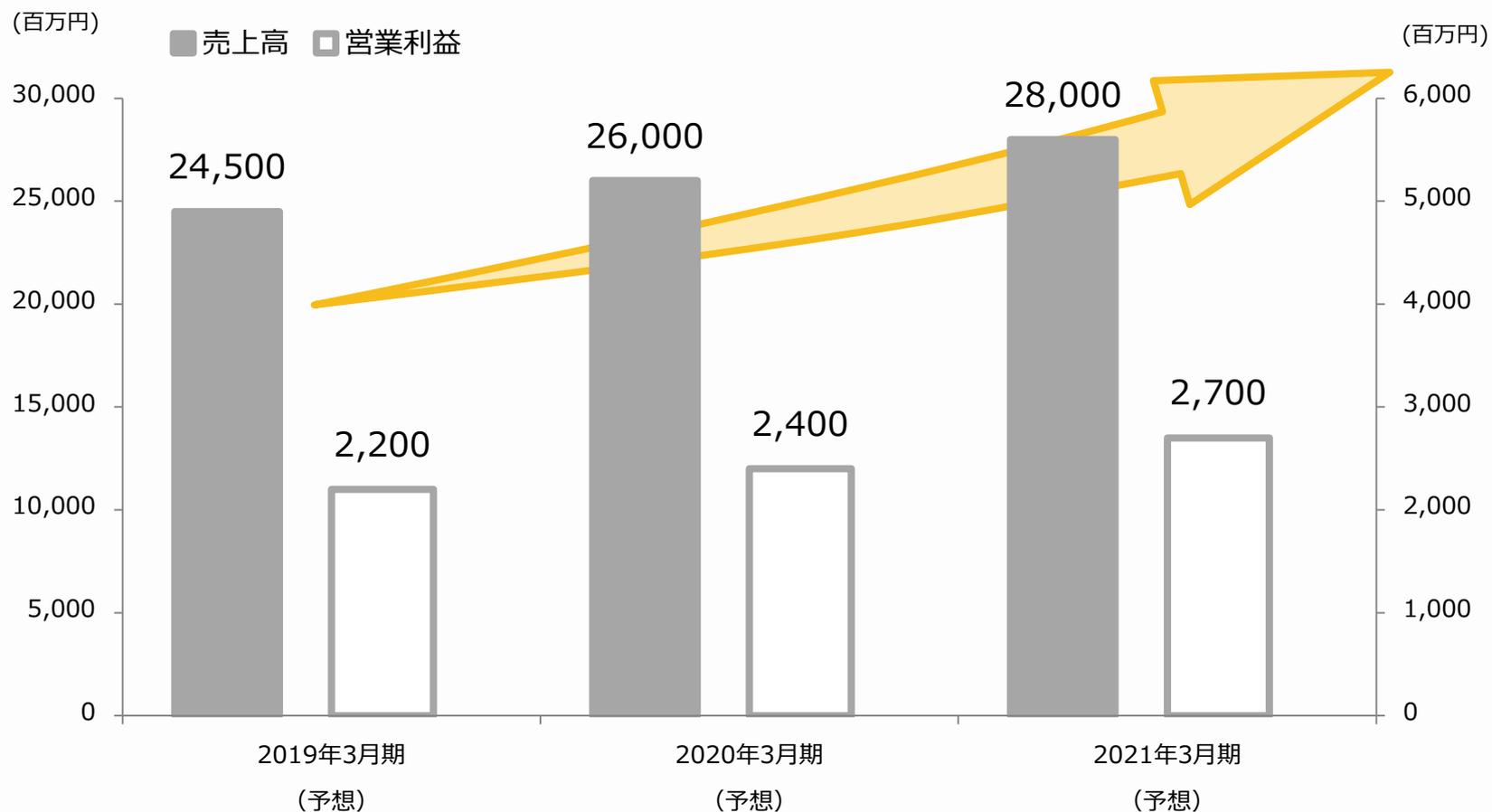


**Point!** 監視センターのセキュリティアナリストが能動的にMVISION EDRを操作し、初動調査と一次対応を行うことでセキュリティ運用の基盤強化を実現

### 【概要】

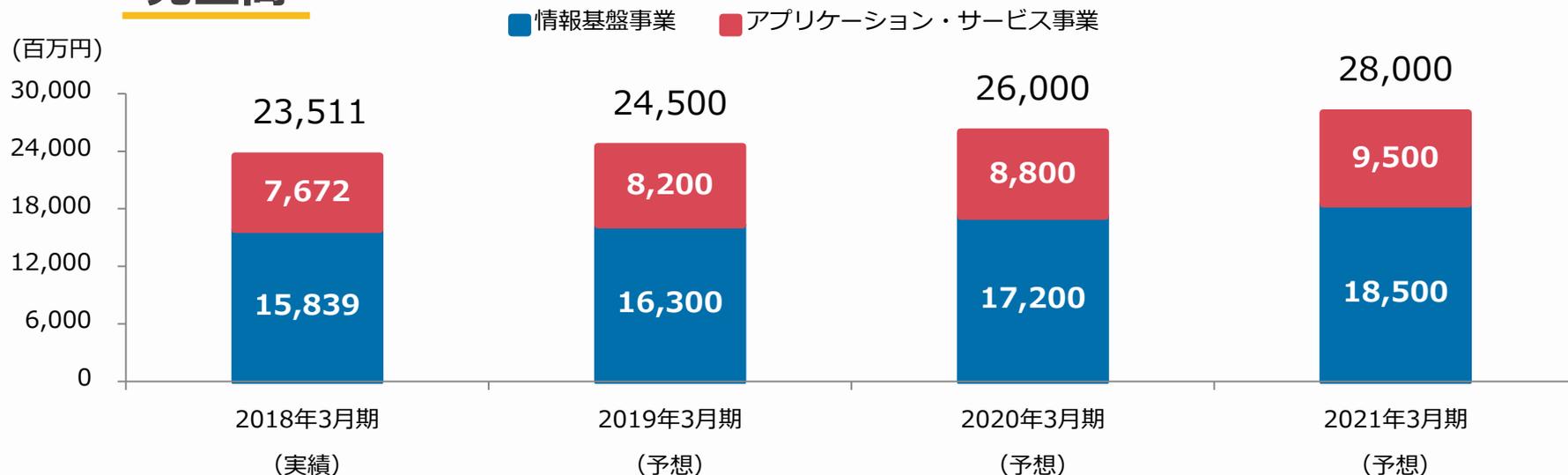
- 統合セキュリティ監視を通じて各イベントアラートを収集
- MVISION EDRから挙がってくるイベントアラートを相関分析
- 解析を踏まえ、インシデント通知を発報する場合に、監視センターのセキュリティアナリストが能動的にMVISION EDRを操作

## 売上高・営業利益ともに成長を継続

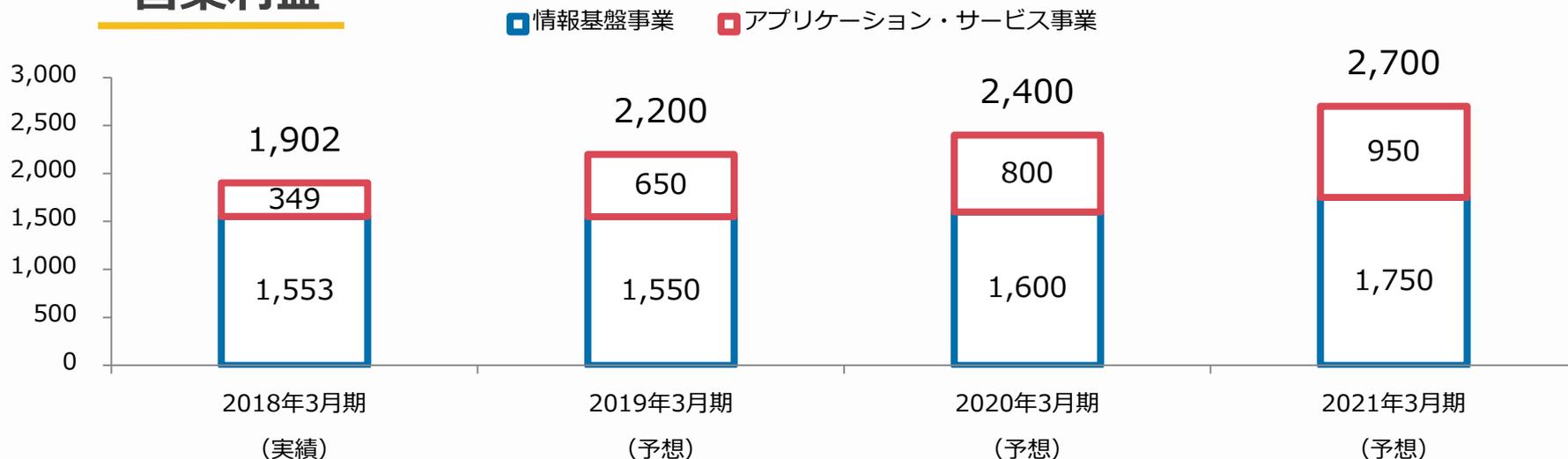


# GO BEYOND 3.0の計画値 (連結)

## 売上高



## 営業利益



## 情報基盤事業

19年3月期～21年3月期（予想）	
売上高 CAGR (%)	5.3
営業利益 CAGR (%)	4.1

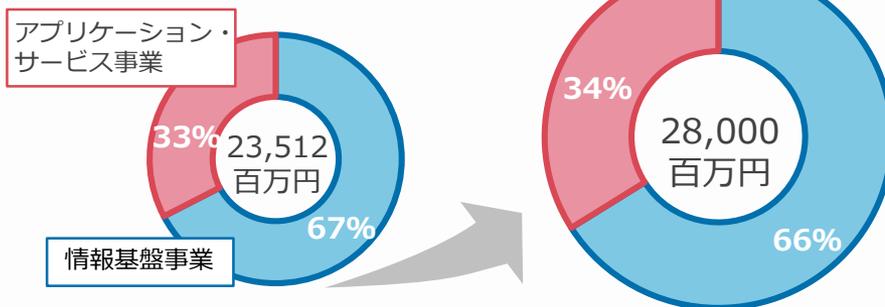
21年3月期（予想）	
営業利益率 (%)	9.5
(36期実績)	(11.9)
(35期実績)	(10.5)
(34期実績)	( 9.8)

※事業構造の積極的転換・差別化のための独自付加価値サービスの創出に注力

## 売上高

2021年3月期（予想）

2018年3月期（実績）



## アプリケーション・サービス事業

19年3月期～21年3月期（予想）	
売上高 CAGR (%)	7.4
営業利益 CAGR (%)	39.6

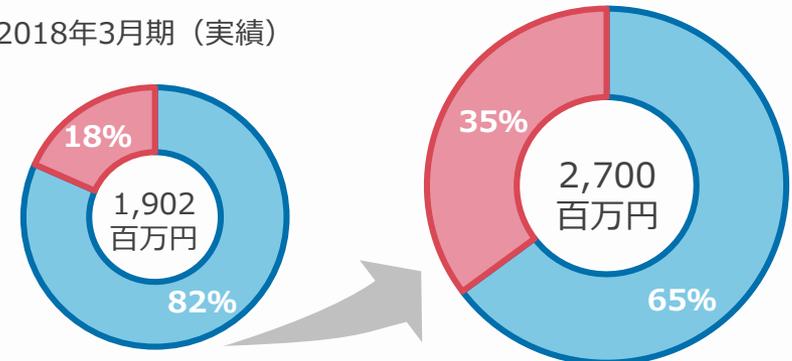
21年3月期（予想）	
営業利益率 (%)	10.0
(36期実績)	(7.8)
(35期実績)	(7.6)
(34期実績)	(4.5)

※ストック型ビジネスの伸長による収穫期への移行

## 営業利益

2021年3月期（予想）

2018年3月期（実績）





# より良い未来を創造する ITのプロフェッショナル集団



## 4. 当社のビジネスモデル（ご参考）

**Point!** 医療施設で撮影されたCT、MRI画像等の医療情報を安全に保管・利用できるクラウドサービス「NOBORI」の提供

**初期投資ゼロ！ IT技術者確保不要！ スペース確保不要！**



- 低価格・短期間で導入できるNOBORIにより医療クラウドサービス市場において先行
- 大規模病院の成約に加え、パートナー営業強化により、今後も契約数は順調に推移する予定
- NOBORIユーザが利用できる、検査予約サービス等のアプリケーションをNOBORI PALで提供

**Point!**

顧客企業の優位性を高める  
コンタクトセンターCRMシステムを提供

- 商品の問い合わせ
- 購入後の問い合わせ



商品

様々な方法での  
問い合わせ



FAX



電話



LINE



E-Mail



WEB

## FastHelp5



購入履歴や  
過去のFAQ等を  
一元管理

お客様情報を  
瞬時に検索!



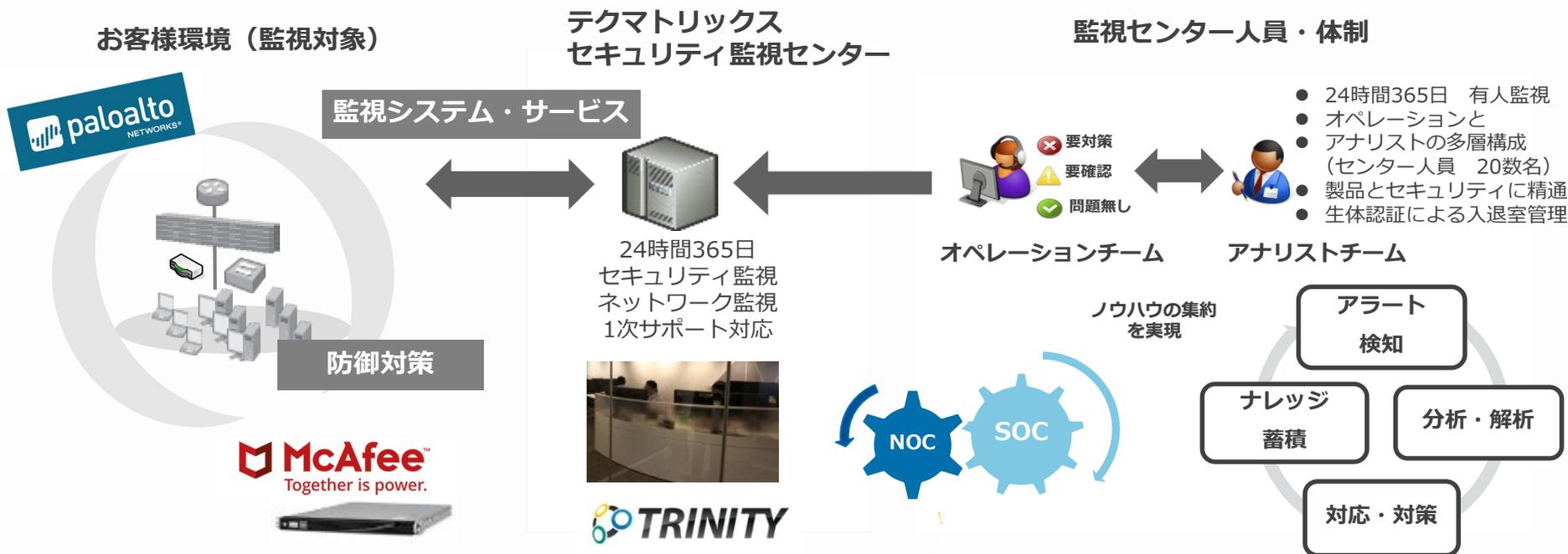
お客様の要望に  
すぐ対応!

顧客満足度UP!



**Point!**

より深く より詳細に 機器を活かす テクマトリックスのワンストップソリューション



## ワンストップソリューション

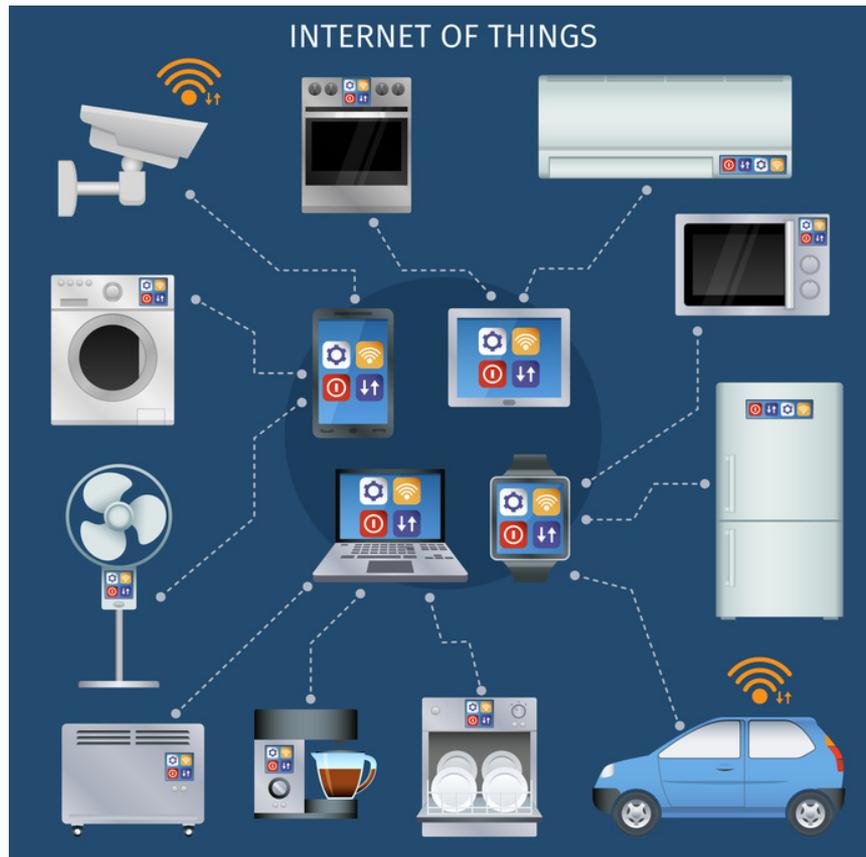
設計・構築・保守 (サポート連携による迅速な障害解決) ・ 機器運用・セキュリティ監視・活用提案をワンストップで提供。

## より深く より詳細に サービスを創出

情報セキュリティ専門ベンダでは、多種多様な製品を監視するため、サービスの内容が浅く広くなりがち。当社では、お客様が当社より購入したセキュリティ製品の進化する各種機能を最大限活用した監視サービスを提供。

**Point!**

IoT : あらゆる物がインターネットに接続し、あらゆる物がソフトウェアで制御されているあらゆる物がサイバー攻撃の対象 ソフトウェアの不具合排除が課題



- ▶ テスト、設計、構成管理などに関するソリューション
- ▶ 開発プロセスを実行するインフラ構築、トレーニング、運用支援
- ▶ 本質的な品質改善、生産性向上につながる改善支援

ソフトウェア品質の向上  
ソフトウェア安全規格対応

## 構造分析

既存のコードを解析し  
ソフトウェアの構造を可視化

アーキテクチャ  
分析

コード構造  
分析

影響度分析

リアクタリング  
支援

## コード解析・単体テスト

開発中のコードから  
問題を早期に発見

バグの検出

コードの保守  
性

単体テスト支  
援

カバレッジ  
計測・分析

## 機能テスト

UIのテスト自動化  
APIのテストおよび仮想化

UIテスト

負荷テスト

APIテスト

サービス  
仮想化

## ソフトウェア開発基盤

早期リリース/プロジェクト  
管理の基盤を提供

テスト管理

構成管理

CI/CD

プロジェクト  
管理

## オープンソースソフトウェア管理

OSS利用時のリスクを可視化

利用ライセン  
スの検出

脆弱性検出

## 構造分析

- アーキテクチャ分析ツール  
**Lattix**
- ソースコード解析ツール  
**Understand**

## コード解析・単体テスト

- C/C++/Java/.NET対応 自動テストツール  
**Parasoft C++ test**  
**Parasoft Jtest**  
**Parasoft dotTEST**
- C/C++対応 自動エラー検出ツール  
**Parasoft Insure++**

## 機能テスト

- UIテスト自動化ツール  
**Ranorex**
- APIテスト自動化ツール  
**Parasoft SOAtest**
- サービス仮想化ツール  
**Parasoft Virtualize**
- Web・モバイル向け負荷テストプラットフォーム  
**NeoLoad**

## ソフトウェア開発基盤

- CI/CDのための組織的な利用に最適化したJenkins  
**CloudBees Jenkins**
- RedmineのPM/PL業務向け機能拡張プラグイン  
**Lychee Redmine**
- 構成管理・変更管理ツール  
**AccuRev**
- テストケース管理ツール  
**TestRail**

## オープンソースソフトウェア管理

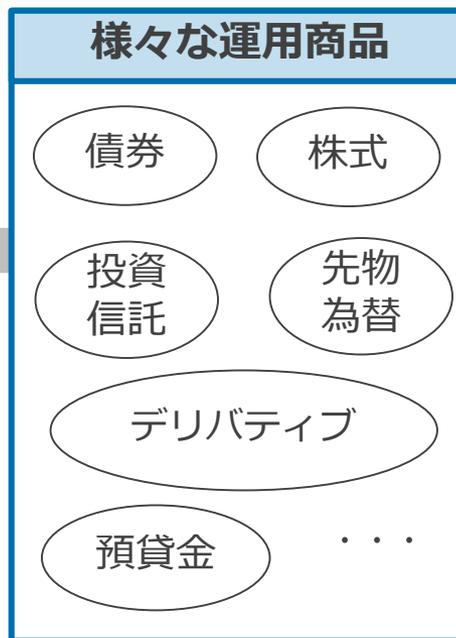
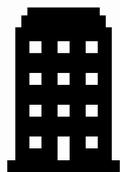
- ライセンスの把握、脆弱性、OSSのリスクを可視化  
**FOSSID**

# SOLUTION

Point!

皆様の金融資産を預託・運用している、様々な金融機関の安全性を保つためのリスク管理システムを提供

個人や企業の  
金融資産



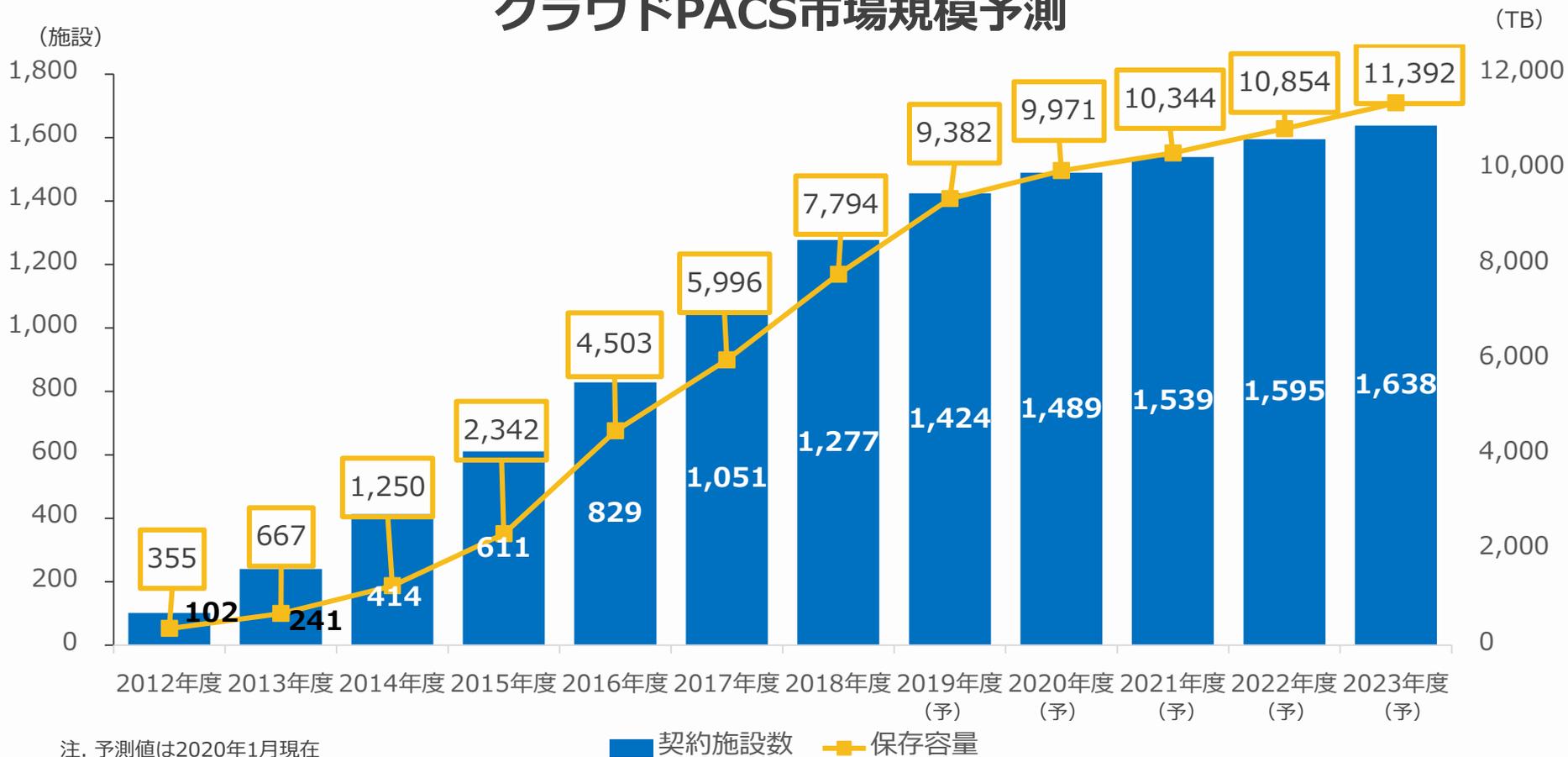
市場リスク、信用リスク、  
価格変動リスク、為替変動  
リスクが潜在



金融資産（ポートフォリオ）  
に対する様々なリスクを多角  
的に計測

# 5. 市場環境（ご参考）

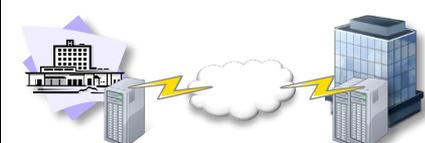
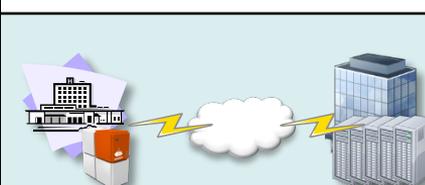
## クラウドPACS市場規模予測



◆ 2019年度でのクラウドの国内契約施設数（予測）は1,424施設。契約施設数は堅調に推移。

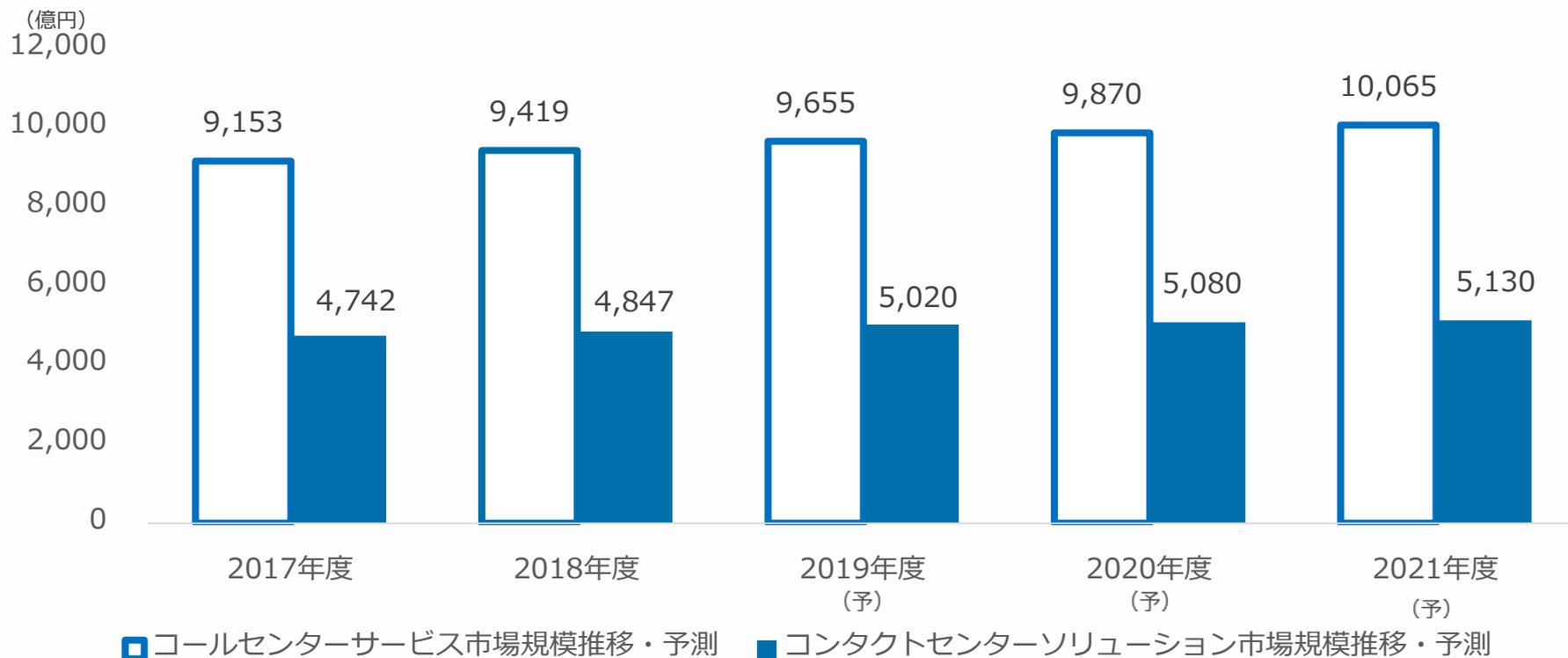
\* 出所：株式会社矢野経済研究所「2019年版医用画像システム（PACS）・関連機器市場の展望と戦略」（2020年1月）

## クラウドPACSの分類

外部保存型クラウドの分類	形態	特徴	構成イメージ	NOBORI
TYPE 1	短期/長期とも院内サーバ + 外部保存（全データを院内と外部データセンターに2重保存）	院外でのデータバックアップ機能の追加。既存システムに追加のコストが発生。		—
TYPE 2	短期は院内サーバ + 長期は外部保存	比較的使用頻度の高いデータを院内保存。既存システムに追加のコストが発生。		—
TYPE 3	院内サーバ設置なし + 外部保存型（院内はキャッシュのみなど）	導入コスト + 院内サーバ不要なため、低価格で。大規模施設に加え、小規模施設で急速に普及する可能性。		

◆テクマトリックスは、TYPE 3 に当たる医療情報クラウドサービス「NOBORI」を提供

## コールセンターサービス市場/コンタクトセンターソリューション市場規模予測



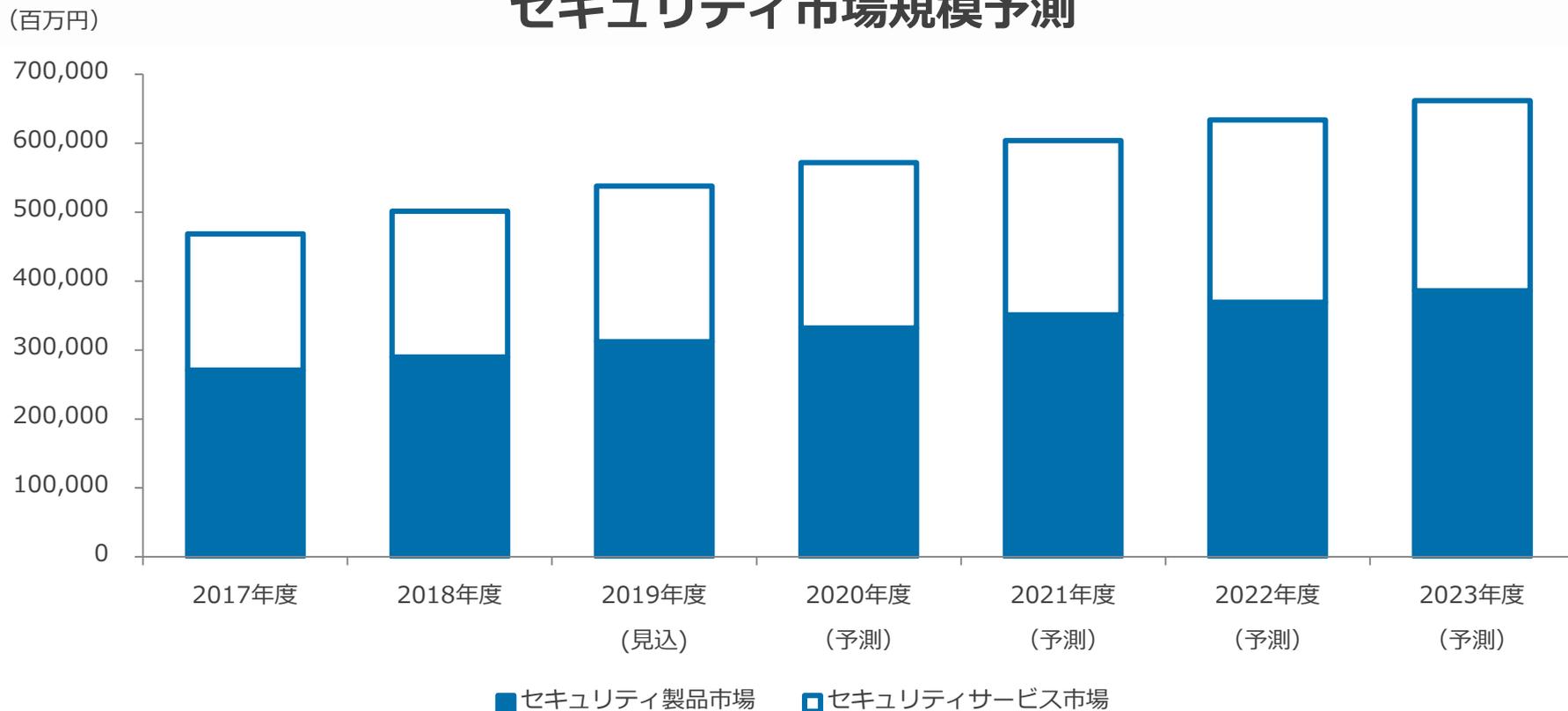
注：事業者売上ベース、予測値は2019年9月現在

◆2018年度のコールセンターサービス市場は前年度比2.9%増の9419億円、コンタクトセンターソリューション市場は前年度比2.2%増の4,847億円

コールセンターサービスは顧客企業における人材不足からアウトソース需要が堅調に推移、コンタクトセンターソリューションはマルチチャネル化への対応が進む

\* 出所：株式会社矢野経済研究所「コールセンターサービス市場/コンタクトセンターソリューション市場の調査（2019年）」

## セキュリティ市場規模予測



◆国内のセキュリティサービス・製品市場は、2017年度の4,687億円から、2023年度は6,617億円に拡大の予測

◆平均成長率は5.7%の高い成長率を予測

\* 出所：(株)富士キメラ総研「2019ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（市場編）」



<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあり得ます。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

<お問合せ先>

テクマトリックス株式会社 経営企画課 TEL:03-4405-7802 ir@techmatrix.co.jp